Image Lab.

取扱説明書

もくじ

はじめに

Image Lab を使用するための注意事項 …… 4
商標について …… 4
この取扱説明書の見かた …… 5
●マークについて …… 5
●表記について …… 5
用語解説 …… 6
システム運用上の注意事項 …… 6
Image Lab の特長 …… 8
番組配信までの流れ …… 8

インストール・起動

動作に必要なシステム環境 …… 10
Image Lab をインストールする …… 11
● Image Lab をインストールする …… 11
●パソコンの環境を設定する …… 13
● Image Lab をアンインストールする …… 15
ランチャ画面の起動と終了 …… 16
●ランチャ画面を起動する …… 16
●ランチャ画面を終了する …… 16
●ランチャ画面について …… 17

番組作成･編集

番組エディタの基本画面について …… 18
●番組エディタを起動する …… 18
●番組エディタの基本画面 …… 18
番組を作成する …… 20
●使用できるコンテンツファイル …… 20
●各コンテンツを配置（レイアウト）する …… 21
●背景 / 表示枠 1 ～ 4 を設定する …… 24
●テロップを設定する …… 28
●音声および音楽を設定する …… 32
●番組を保存する …… 33
●番組を開く …… 34
●作成した番組を確認する …… 34
●番組を削除する …… 35
●番組のプロパティを表示・変更する …… 35
●番組をインポート / エクスポートする …… 36

タイムテーブル作成・編集

タイムテーブルエディタの基本画面について …… 38
●タイムテーブルエディタを起動する …… 38
●タイムテーブルエディタの基本画面 …… 38
タイムテーブルを作成する …… 40
●作成した番組をタイムテーブルに登録する …… 40
●タイムテーブルを調整する …… 41
●タイムテーブルを保存する …… 42
●タイムテーブルを開く …… 43
●作成したタイムテーブルを確認する …… 43
●タイムテーブルを削除する …… 44
●タイムテーブルのプロパティを表示・変更する …… 44

スケジュール作成・編集

スケジュールエディタの基本画面について……45
●スケジュールエディタを起動する……45
●スケジュールエディタの基本画面……45
スケジュールを作成する……47
●作成したタイムテーブルをスケジュールに登録する……47
●スケジュールを保存する……49
●スケジュールを開く……49
●スケジュールを削除する……50

バージョン情報

バージョン情報を確認する……51

スケジュール配信

スケジュール配信ツールの基本画面について……52
●スケジュール配信ツールを起動する……52
●スケジュール配信ツールの基本画面……52
スケジュールを配信する……53
● USB メモリなどの外部記憶装置を利用して配信する……53
●自分自身（マイコンピュータ）へ配信する……54
番組を臨時で表示する……56
配信記録一覧……58

スケジュール受信・番組表示

Image Lab クライアントスケジューラについて……59
● Image Lab クライアントスケジューラの起動……59
● Image Lab クライアントスケジューラのメニュー……59
番組ビューア……62

はじめに

このたびは、インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト Image Lab.（イメージ ラボ）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、インフォメーションディスプレイ マネージメントソフト Image Lab.（以下、Image Lab と表記します）のインストール方法、操作方法および関連事項について説明しています。
また、Image Lab には、スタンドアロン版、ビューア版の 2 種類のタイプがありますが、本書は 2 種類共通の取扱説明書です。各タイプで使用制限や機能の違いがある場合は、明記していますので、ご購入のタイプの説明をお読みください。

Image Lab を使用するための注意事項

・Image Lab は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

・お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

・Image Lab を利用して著作権の対象となっている著作物を複製・編集等をすることは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。
利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製等について著作者等から許諾を受けているなどの事情がないにも関わらず、この範囲を越えて複製・編集した場合や、複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、Image Lab において写真の画像データ、DVD 映像、TV 放映等を利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用・改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法を厳重にお控えください。

・TV、DVD など、著作権のある番組を上映する際は、著作者の許諾を取得してください。

・本取扱説明書および Image Lab の内容の全部および一部を、当社に無断で転記、あるいは複製することはお断りします。

・本取扱説明書および Image Lab は、改良のため予告なく変更することがあります。

商標について

・Microsoft、Windows、PowerPoint、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国と他の国々における登録商標です。
・Microsoft Internet Explorer のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国と他の国々における商標です。
・Macromedia および Macromedia Flash Player は、Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・インテル、Celeron、Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

その他、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の表記ルールなどについて説明しています。

●マークについて

	参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。
☞	この取扱説明書の参照ページを示しています。

●表記について

・キーを押す操作は、押すキーを「【 】」で表記しています。

例：【Shift】キー、【Ctrl】キーなど

・メニューやウィンドウ、ダイアログボックス、ボタン、タブなどを「[ ]」で表記しています。

例：

1 **［オプション］メニューから［グリッド設定］をクリックします。**

［グリッドの設定］ダイアログボックスが表示されます。

・項目やチェックボックス、ラジオボタンなどを「「」」で表記しています。

例：「X 座標」、「既存の画面サイズ」ラジオボタンなど

・マウスの操作は、次の通りに表記しています。

・マウスの左ボタンを押してすぐに離す操作のことを「クリック」と表記しています。
・左ボタンを押したままマウスを移動することを「ドラッグ」といい、ドラッグ状態の左ボタンを目的の位置で離す操作のことを「ドロップ」と表記しています。
・マウスの右ボタンを押してすぐに離す操作のことを「右クリック」と表記しています。

・本書では、Image Lab が次のフォルダにインストールされている場合を例に説明します。

お使いのシステムが下記と異なる場合は、必要に応じて読み替えて操作してください。

C:¥Program Files¥NEXTONE¥ImageLab（デフォルト）

・本書に記載されている画面サンプルや操作手順は、１つの例です。

お使いの表示デバイスや画面の設定、お使いになる OS などのバージョンによって内容が異なる場合があります。本書では、Windows XP を例に記載しています。
また、本書に記載されているコンテンツファイルやフォントなどは、作成例です。すべて搭載されているものではありません。

・本書では、Windows の基本的な操作については説明していません。

用語解説

本書で使用されている用語とその意味について説明します。

用語	意味
管理パソコン	番組、タイムテーブル、スケジュールを作成し配信するパソコンです。 「サーバ PC」も同じ意味を示します。
配信先パソコン	スケジュールに従ってコンテンツを表示するパソコンです。 「パネル PC」、「クライアント PC」も同じ意味を示します。また、「パネル」とは、このパソコンに接続された表示装置（液晶モニタなど）を示します。
コンテンツ（ファイル）	動画、静止画、音声など、パネルに再生する素材（ファイル）です。 通常は、ユーザ側で用意します。
プレイリスト	複数のコンテンツを再生したい順序に並べたものです。 コンテンツ情報と再生順序、再生時間などの情報が登録されています。
表示枠	1 つのパネルを複数に分割したときの表示単位となる子画面を示します。
テロップ	スクロールメッセージです。 Image Lab では、テロップは 2 つまで表示できます。
番組	表示枠レイアウトと、複数の表示枠にそれぞれ割り当てられたプレイリストの情報、テロップなどの情報を組み合わせたものです。
タイムテーブル	複数の番組の再生順序、再生時刻を 1 日の時間枠に割り当てたものです。
スケジュール	複数のタイムテーブルを、再生したい日付に割り当てたものです。
添付ファイル	HTML ファイルなどを表示するときに必要となる画像ファイルなどの総称を示します。

システム運用上の注意事項

コンテンツや番組を作成するときの留意点

マルチメディアコンテンツによっては、パネルに表示する際に高い CPU 処理能力を必要とするものがあります。システム運用前に、実際に表示するコンテンツファイルを使用して、パネルに番組を表示した状態で、あらかじめテストしてください。

コンテンツや番組を作成する場合には、次の点に注意してください。

・動画再生プレイヤーについて

同時に複数の動画を再生しないことを推奨します。
コンテンツ内容によって異なりますが、一般的には、Macromedia Flash Player より Windows Media Player の方が、CPU 負荷が高くなります。

動画ファイルを再生する場合、別途有償のコーデックが必要となる場合があります。

・Flash コンテンツについて

画像の透過処理（画像のフェードイン / フェードアウト）を多用したコンテンツを表示すると、CPU 負荷が非常に高くなる可能性がありますので、注意してください。

・動画および静止画の拡大 / 縮小表示について

画像サイズや表示サイズが大きくなるほど、CPU 負荷が高くなります。また、画像を拡大 / 縮小して表示すると、CPU 負荷が高くなります。できる限り、コンテンツ表示領域のサイズ（表示枠サイズ）を小さくし、表示サイズと同じ画像サイズで、コンテンツを作成してください。

・テロップコンテンツについて
テロップの表示には、高い CPU 処理能力を必要とします。テロップを使用する場合には、他の表示枠で表示するコンテンツの CPU 負荷に注意してください。
また、テロップ表示領域のサイズ（表示枠サイズ）をむやみに大きくしないでください。1 行のテロップ文字列が長ければ長いほど、多くのメモリを消費します。適当な長さで改行して、使用してください（全角 100 文字程度が上限としてください）。

・PowerPoint について
PowerPoint のデータは、自動的に画面切り替え（自動スライドショー）するように設定し、繰り返し再生するように設定してください。
PowerPoint Viewer は、同時に複数表示することはできません。1 つの番組内では、複数の表示枠に PowerPoint 形式のファイルを割り付けないでください。また、PowerPoint Viewer は、自分自身にフォーカスが当たっている場合にのみ、スライドショーの再生が進行します。
Image Lab には、PowerPoint Viewer 2003 が必要です。お使いのパソコンに Microsoft PowerPoint 2003 がインストールされていても、別途 PowerPoint Viewer 2003 をインストールする必要があります。

配信先パソコンの連続運転

Image Lab は、24 時間連続使用を想定しておりません。必ず毎日、配信先パソコンの電源を OFF するような運用をしてください。

パソコンの内部時計

Image Lab は、パソコンの内部時計を元にスケジュールなどを実行しています。インターネット時刻サーバと同期するなどの方法で、パソコンの内部時計を常に正確な状態に保ってください。

番組表示時間の精度

番組の表示は、毎分 0 秒に起動するタイマーによって制御しています。1 分より短い時間での番組切り替えや、1 分途中（秒単位）での番組切り替えはできません。
また、コンテンツを表示するアプリケーションの起動時間やコンテンツファイルの読み込み時間などによって、実際の表示時間と多少の誤差が発生することがあることを、あらかじめご了承ください。

番組表示中の操作

番組表示中は、マウスやキーボードで操作（ウィンドウをクリックするなど）を行わないでください。ウインドウの表示順序が変わったり、コンテンツ再生内容が変わる可能性があります。
番組プレビュー表示を終了するには、【ESC】キーを押します。

バックアップについて

Image Lab には、データのバックアップ機能はありません。運用中は、定期的にコンテンツファイルなどのバックアップを取ってください。

静止画について

背景や表示枠に静止画を設定する場合、長時間同じ場所に表示すると、ディスプレイの残像や焼き付けの原因となることがあります。一定時間ごとに静止画を変更したり、レイアウトを変更するなどの配慮をした番組やタイムテーブルを作成してください。

Image Lab の特長

ネクサスオリジナルのコンテンツ配信・表示ソフト「Image Lab」は、より簡単に、より低コストに、そしてリアルタイムに情報を表示する電子掲示板システムが実現できます。

優しいユーザーインタフェース

新聞のテレビ欄のようなタイムスケジュール、カレンダーのような月間スケジュールに番組を配置でき、短時間で編集できます。

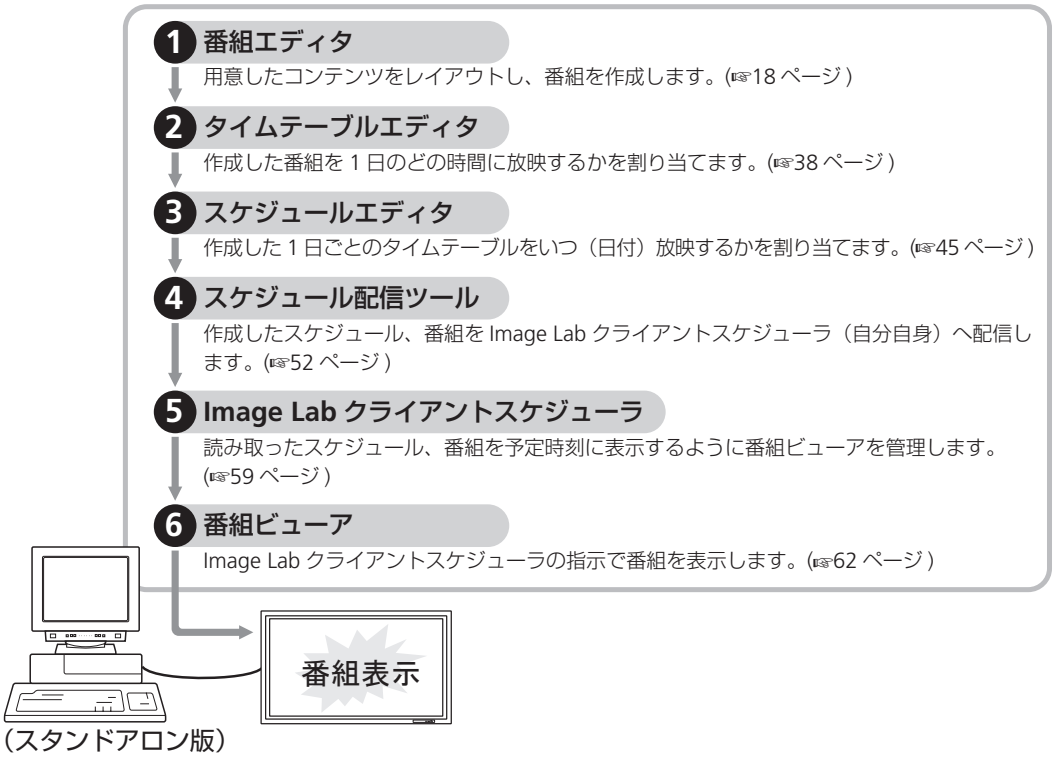
多彩な表示とテロップ機能

レイアウトフリーの表示枠（4 表示枠 /1 画面）、背景に加えテロップ機能を 2 本標準装備しています。縦型テロップにも対応しており効果的な表現と情報提供ができます。

番組配信までの流れ

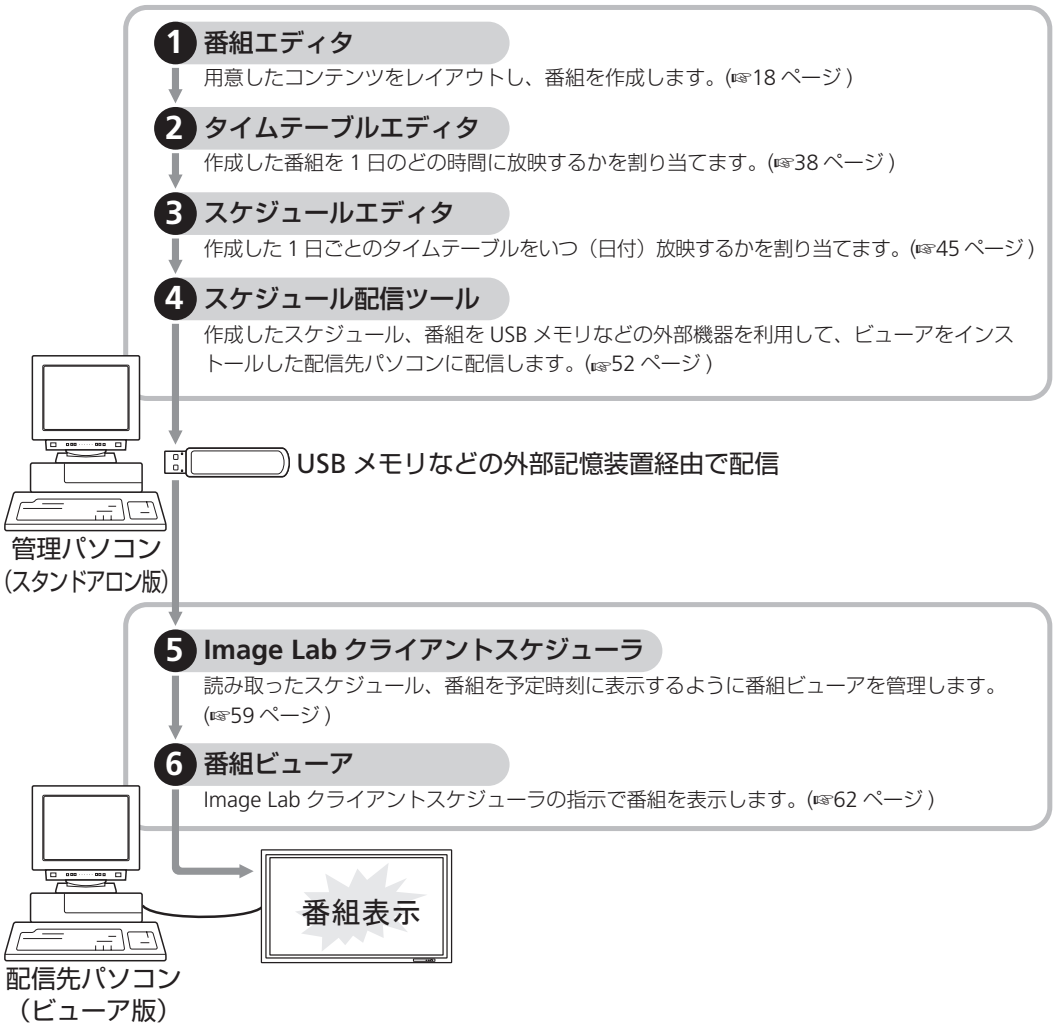
番組作成からパネルに番組を表示するまでの流れについて説明します。

自分自身（マイコンピュータ）へ配信する場合



（スタンドアロン版）

USB メモリなどの外部記憶装置を利用して配信する場合



インストール・起動

Image Lab をご使用いただくための環境やインストール方法、およびランチャ画面の起動と終了方法などについて説明します。ご使用の前に必ずお読みください。

動作に必要なシステム環境

項目	内容
パソコン	CPU：Celeron M 1.3 GHz 以上（Pentium 4 プロセッサを推奨） 番組に動画、コンテンツを多く使用する場合は、Pentium 4 プロセッサ 2GHz 以上の高性能 CPU を必要とします。
OS	Microsoft Windows 2000/XP（日本語版）
メモリ	256MB 以上（512MB 以上を推奨）
ハードディスク	空き容量 20MB 以上（別途データ保存のための空き容量が必要）
ディスプレイ（管理パソコン用）※1	1024 × 768 ドット以上の解像度のフルカラーディスプレイ
パネル（配信先パソコン用）※2	液晶マルチメディアモニター インフォメーション ディスプレイ PN シリーズ
インターフェイス	USB ポート（USB メモリを利用する場合のみ）
その他	Microsoft Internet Explorer 6.0 以上 PowerPoint Viewer2003 Windows Media Player 6.4 以上 Macromedia Flash Player

※ 1　番組やスケジュールの作成・編集に使用するディスプレイ。

※ 2　スタンドアロン版、ビューア版で、番組の表示に使用するパネル。

・スタンドアロン版、ビューア版に関わらず、Image Lab をインストールするパソコンには、「Macromedia Flash Player」、「Windows Media Player」および「PowerPoint Viewer2003」がインストールされている必要があります。
プログラムをインストールしていない場合やバージョンが異なる場合など、インストールを促すメッセージが表示されたときは、プログラムを提供しているホームページからダウンロードし、インストールしてください。

・動画ファイルを再生する場合、別途有償のコーデックが必要となる場合があります。

Image Lab をインストールする

パソコンに Image Lab をインストールまたはアンインストールする場合は、管理者権限のあるユーザで作業を行ってください。

● Image Lab をインストールする

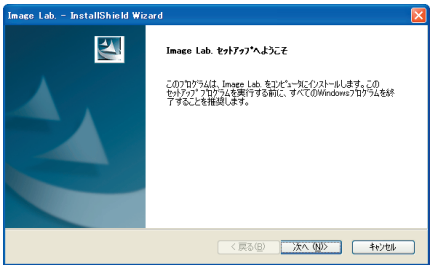
1 **パソコンを起動します。**

2 **すべてのアプリケーションソフトを終了します。**

3 **「Image Lab CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。**

4 **Image Lab セットアッププログラムが起動します。**

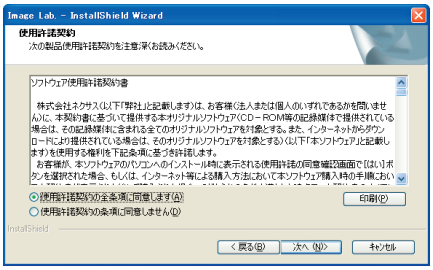
しばらく待ってもセットアッププログラムが起動しない場合は、CD-ROM ドライブ内の Setup.exe を起動してください。



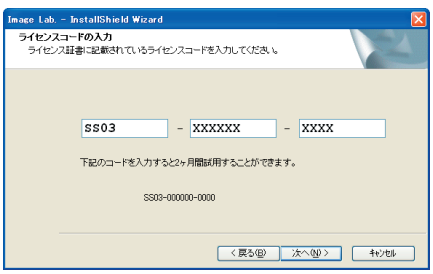
5 **［次へ］をクリックします。**

6 **ソフトウェア使用許諾契約書の内容はすべてお読みください。**

7 **ご同意頂けた場合は、「使用許諾契約の全条項に同意します」ラジオボタンを選択し、［次へ］をクリックします。**



8 **インストールするセットアップタイプにあったライセンスコードを入力し、［次へ］をクリックします。**
ライセンスコードは、CD-ROM ケースに記載されている「シリアル No.」を入力してください。



仮のライセンスコードを入力してご使用の場合は、2 ヶ月間の試用期限があります。
試用期限が過ぎる前に、下記の方法でライセンスコードを入力してください。

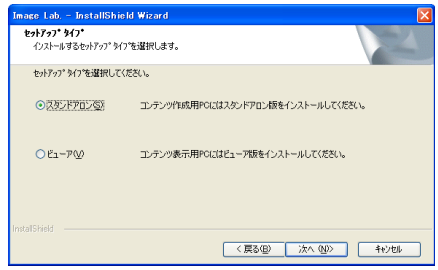
・スタンドアロン版をご使用の場合は、［バージョン情報］の［ライセンスコードの登録］ダイアログボックスから登録できます。(☞51 ページ)
・ビューア版をご使用の場合は、Image Lab クライアントスケジューラの［バージョン情報］ダイアログボックスから登録できます。(☞61 ページ)

9 **Image Lab のタイプを選択し、［次へ］をクリックします。**

タイプは、次の 2 種類です。

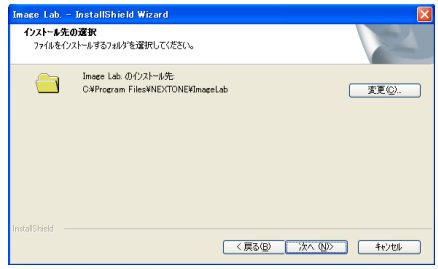
・ **スタンドアロン**
パソコン単体で番組作成、スケジュール配信、表示を行います。

・ **ビューア**
コンテンツ表示用ソフトのみをインストールします。配信先パソコンで使用し、受信した番組をスケジュール通りに表示します。



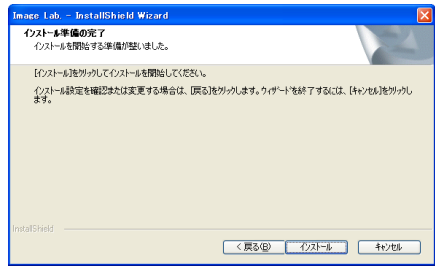
10 **［次へ］をクリックします。**

インストール先を変更したい場合は、［変更］をクリックし、インストール先のフォルダを指定してください。



11 **［インストール］をクリックします。**

インストールが開始されます。



12 **［完了］をクリックします。**

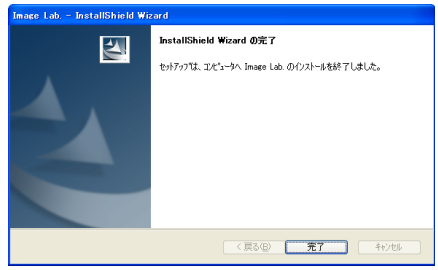
これで、インストールは完了です。

インストールが完了すると、スタンドアロンの場合は、デスクトップに Image Lab のショートカットアイコンが作成されます。

（ランチャアイコン）

Image Lab.

また、Image Lab クライアントスケジューラ（ ）が起動し、タスクトレイに表示されます。



●パソコンの環境を設定する

インストールが完了したら、Image Lab をご使用になる前に、次に示すパソコンの設定を確認してください。番組の作成や配信、表示などが正しく動作するように、また使用中に不具合が発生しないように、必要に応じて設定を変更しておいてください。

自動ログインの設定

配信先パソコンが無人運転を前提としている場合、Windows 起動時に自動ログインされるように設定します。

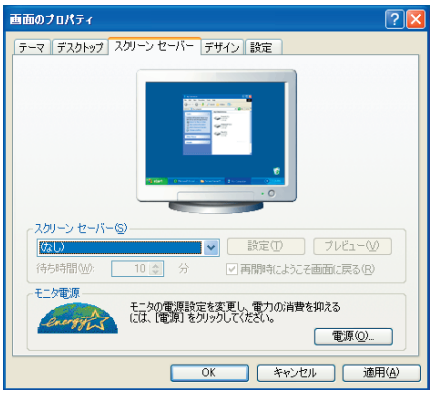
スクリーンセーバーの設定

ビューアで番組を表示中に、パネルにスクリーンセーバーが表示されないように、スクリーンセーバーが起動しないように設定します。

1 **デスクトップのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［スクリーン セーバー］タブをクリックし、「スクリーンセーバー」のメニューから「(なし)」を選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**



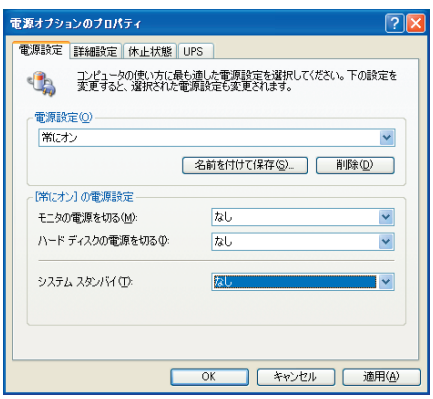
電源管理

ビューアで番組を表示中に、パネルの表示が停止しないように、パネルやハードディスクの電源が切れたり、システムスタンバイに移行したりしないように設定します。

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロール パネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［電源オプション］の順にクリックします。**
［電源オプションのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［電源設定］タブの「モニタの電源を切る」、「ハードディスクの電源を切る」、「システムスタンバイ」のそれぞれのプルダウンメニューから、「なし」を選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**



Active デスクトップの設定

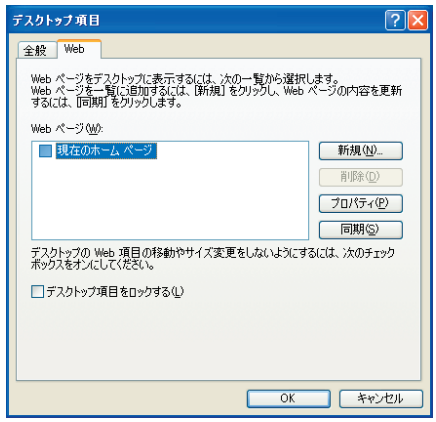
Active デスクトップの設定を OFF にしてください。

1 **デスクトップのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。**
［画面のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［デスクトップ］タブをクリックし、［デスクトップのカスタマイズ］をクリックします。**
［デスクトップ項目］ダイアログボックスが表示されます。

3 **［Web］タブをクリックし、「Web ページ」のチェックボックスをはずします。**

4 **［OK］をクリックします。**



IME ツールバー設定

ビューアで番組を表示中に、パネルにIMEツールバーが表示されないように、IMEツールバーをタスクバー内に移動します。

1 **IME ツールバーを右クリックして表示されたメニューから［最小化］をクリックします。**
または をクリックします。

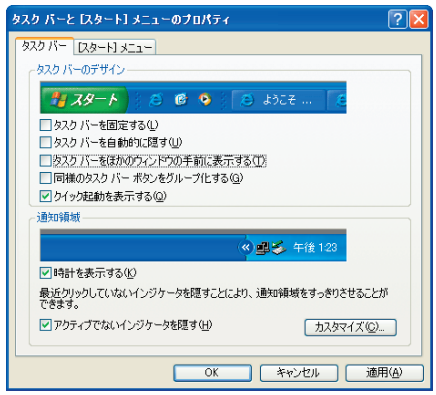
タスクバー設定

ビューアで番組を表示中に、パネルにタスクバーが表示されないように、タスクバーを設定します。

1 **タスクバーのなにもない場所を右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。**
［タスクバーと［スタート］メニューのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［タスクバー］タブの「タスクバーのデザイン」の「タスクバーを自動的に隠す」および「タスクバーをほかのウィンドウの手前に表示する」チェックボックスのチェックをはずします。**

3 **［OK］をクリックします。**



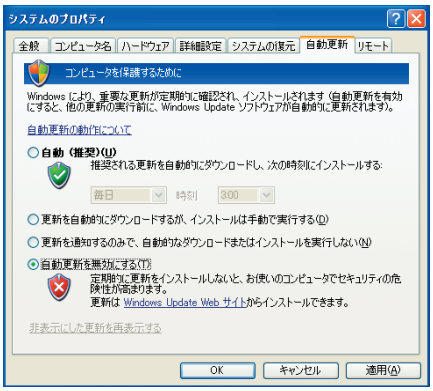
Windows Update の設定

ビューアで番組を表示中に Windows Update の自動更新が起動し、パネルにポップアップメッセージ（ダイアログボックス）などが表示されないように、Windows Update の自動更新されないように設定します。

1 **Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［コントロール パネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［システム］の順にクリックします。**
［システムのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［自動更新］タブをクリックし、「自動更新を無効にする」ラジオボタンを選択します。**

3 **［OK］をクリックします。**



常駐アプリケーションソフトの設定

ビューアで番組を表示中に、常駐アプリケーションソフト（例えば、ウイルススキャン）のポップアップメッセージ（ダイアログボックス）などが表示されないように、常駐アプリケーションソフトを設定してください。

● Image Lab をアンインストールする

番組の表示中や作成中など、頻繁に Image Lab が不正終了する場合は、プログラムの修正を行ってください。それでも改善されない場合は、いったん Image Lab をアンインストールし、再インストールすることをお勧めします。

Image Lab をアンインストールしても、作成した番組やスケジュール、コンテンツファイルは削除されません。再インストール後に利用できます。

1 **パソコンを起動します。**

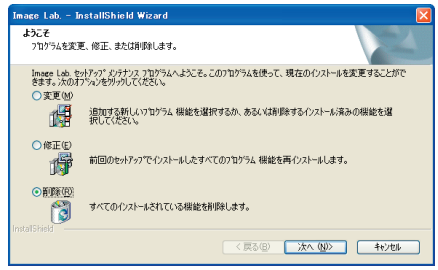
2 **すべてのアプリケーションソフトを終了します。**

3 **「Image Lab CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。**

4 **Image Lab セットアップメンテナンスプログラムが起動します。**

しばらく待ってもセットアップメンテナンスプログラムが起動しない場合は、CD-ROM 内の Setup.exe を起動してください。

5 **「削除」ラジオボタンを選択し、［次へ］をクリックします。**



「変更」または「削除」ラジオボタンを選択した場合は、再度ライセンスの入力が必要です。

6 **［はい］をクリックします。**
アンインストールが開始されます。

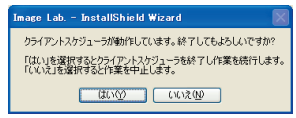
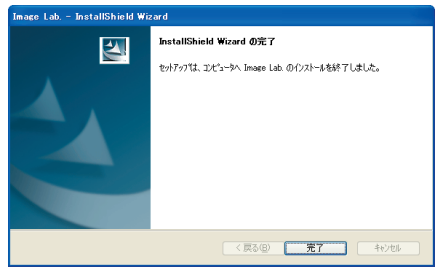


Image Lab クライアントスケジューラを終了し忘れた場合は、右のメッセージが表示されます。［いいえ］をクリックして Image Lab クライアントスケジューラを終了した後で、再度アンインストールを実行してください。［はい］をクリックすると、Image Lab クライアントスケジューラを強制終了し、アンインストール続行します。

7 **［完了］をクリックします。**
これで、アンインストールは完了です。



ランチャ画面の起動と終了

ランチャ画面の起動と終了方法、およびランチャ画面の概要について説明します。

●ランチャ画面を起動する

1 **デスクトップの Image Lab. ショートカットアイコンをダブルクリックします。**
Image Lab のランチャ画面が起動します。

Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［NEXTONE Image Lab］－［Image Lab.］の順にクリックしても、起動できます。

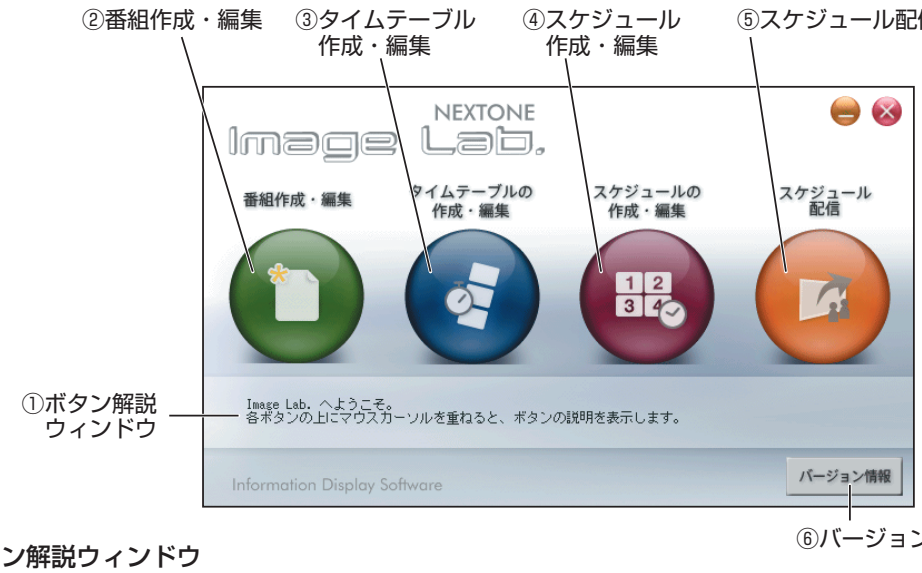
●ランチャ画面を終了する

1 **ランチャ画面の をクリックします。**
ランチャ画面が終了します。

●ランチャ画面について

ランチャ画面は、全ての操作をはじめるためのメイン画面になります。
番組の作成や配信など、目的別に 5 種類のボタンが用意されており、ボタンをクリックすると、各種ツールやダイアログボックスが起動します。

・他のツールやダイアログボックスが既に起動している場合は、最前面に表示されます。
・Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［NEXTONE Image Lab］－［各種ツール］の順にクリックしても、各ツールを起動できます。



①ボタン解説ウィンドウ

各ボタンの上にマウスカーソルを重ねると、ボタンの説明を表示します。

②番組作成・編集（☞18 ページ）

「番組エディタ」が起動します。画面サイズや画面レイアウト、表示するコンテンツやテロップなどを設定し、番組を作成します。

③タイムテーブル作成・編集（☞38 ページ）

「タイムテーブルエディタ」が起動します。作成した番組を表示したい時間に割り当て、1 日のタイムテーブルを作成します。

④スケジュール作成・編集（☞45 ページ）

「スケジュールエディタ」が起動します。作成したタイムテーブルを実行したい日に割り当て、スケジュールを作成します。

⑤スケジュール配信（☞52 ページ）

「スケジュール配信ツール」が起動します。作成したスケジュールを指定したパネルへ配信します。

⑥バージョン情報（☞51 ページ）

［環境設定］ダイアログボックスが起動します。ランチャのバージョン情報を表示します。入手したライセンスコードの登録もできます。

番組作成・編集

番組エディタを使用して、パネルに表示する番組（コンテンツ）を作成する方法について説明します。

番組エディタの基本画面について

●番組エディタを起動する

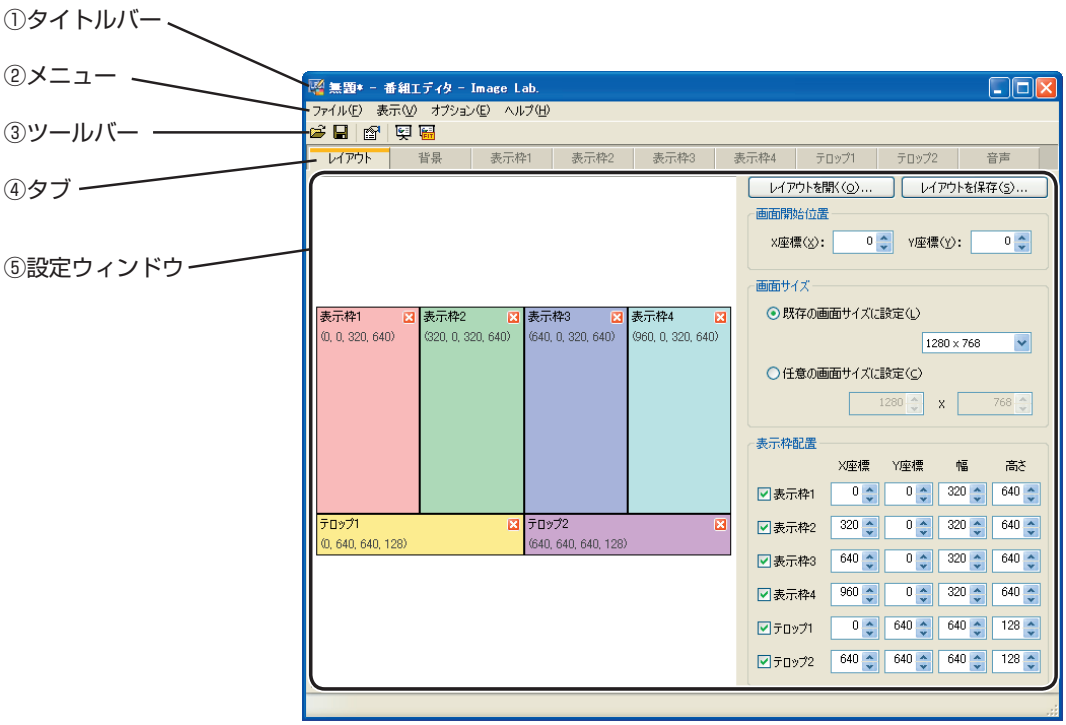
1 **ランチャ画面で** **をクリックします。**

「番組エディタ」が起動します。

起動直後は、新しい番組を作成するためにあらかじめ用意された表示枠 1 ～ 4、テロップ 1、2 が配置されています。この画面を元に内容を設定し、番組を完成させます。

・Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［NEXTONE Image Lab］－［各種ツール］－［番組エディタ］の順にクリックしても、起動できます。
・はじめて起動したときは、［コンテンツのプレビュー］ウィンドウも表示されます。（☞26 ページ）

●番組エディタの基本画面



①タイトルバー

ファイル名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、ファイルを保存すると、そのファイル名に変わります。
開いたファイルの内容が変更されると、ファイル名の後ろに「*（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー

「ファイル」、「表示」、「オプション」、「ヘルプ」の 4 種類のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容	参照ページ
ファイル	番組の新規作成	新しい番組を開きます。	–
	番組を開く	保存されている番組を読み込みます。	☞34 ページ
	番組の上書き保存	現在編集中の番組を保存します。	☞33 ページ
	番組に名前を付けて保存	現在編集中の番組に別の名前を付けて保存します。	☞33 ページ
	番組の削除	保存されている番組の中から番組を指定して削除します。	☞35 ページ
	番組のプロパティ	番組のプロパティを表示・変更します。	☞35 ページ
	番組のインポート	他のパソコンでエクスポートした番組を利用するために、読み込みます。	☞37 ページ
	番組のエクスポート	他のパソコンで利用するために、保存されている番組の中から番組を書き出します。	☞36 ページ
	番組作成・編集の終了	番組エディタを終了します。	–
表示	番組のプレビュー［オリジナルサイズ］	現在編集中の番組のプレビューをオリジナルサイズで表示します。	☞34 ページ
	番組のプレビュー［画面にフィット］	現在編集中の番組のプレビューを画面の大きさにフィットさせて表示します。	☞34 ページ
	コンテンツのプレビュー	［コンテンツのプレビュー］ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	☞26 ページ
	最新の状態に更新	Image Lab を起動後、コンテンツフォルダ内のコンテンツファイルを追加・削除した場合に、コンテンツフォルダ内の内容を更新できます。	–
オプション	グリッド設定	表示枠やテロップをグリッド単位で操作するときに、グリッドの詳細を設定します。	☞23 ページ
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	–

③ツールバー

よく使うメニューはアイコンになっています。ボタンをクリックするだけで、メニューと同じ操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容	参照ページ
	番組を開く	保存されている番組を読み込みます。	☞34 ページ
	番組の上書き保存	現在編集中の番組を保存します。	☞33 ページ
	番組のプロパティ	現在編集中の番組のプロパティを表示します。	☞35 ページ
	番組のプレビュー［オリジナルサイズ］	現在編集中の番組のプレビューをオリジナルサイズで表示します。	☞34 ページ
	番組のプレビュー［画面にフィット］	現在編集中の番組のプレビューを画面の大きさにフィットさせて表示します。	☞34 ページ

④タブ

「レイアウト」、「背景」、「表示枠 1」、「表示枠 2」、「表示枠 3」、「表示枠 4」、「テロップ 1」、「テロップ 2」、「音声」の 9 種類のタブがあります。クリックすると、各項目の設定ウィンドウに切り替わります。

⑤設定ウィンドウ

選択したタブの詳細を設定します。

番組を作成する

●使用できるコンテンツファイル

コンテンツとして使用できるファイル形式は次の通りです。

コンテンツの名前	ファイル形式
背景、 表示枠 1 ～ 4	MPEG、MPEG1、MPEG2、MPEG4、 WMV（Windows Media Video（Windows Media Player で再生可能な形式））、 Macromedia Flash（Macromedia Flash Player で再生可能な形式）、 PowerPoint、HTML、JPEG、BMP、GIF、PNG
テロップ 1，2	テロップエディタで作成したテロップ
音声	WAVE、MP3、AU、AIFF、 WMA（Windows Media Audio（Windows Media Player で再生可能な形式））、 MIDI

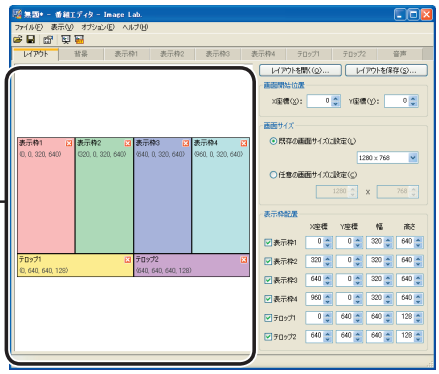
音声ファイルはレイアウトで配置することはできません。番組の表示時に再生される音声および音楽（BGM）として使用されます。

コンテンツファイルは拡張子によって、タイプを認識します。
タイプに応じて、各ソフトウェアをパソコンにインストールしておく必要があります。

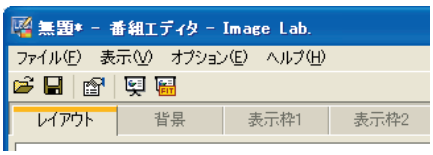
拡張子	コンテンツタイプ	必要なソフトウェア
.avi .mpeg .mpg .wmv .asf	動画	Windows Media Player
.swf	Flash	Flash Player
.ppt .pps	PowerPoint	PowerPoint Viewer2003
.htm .html	HTML	Internet Explorer
.tlp	テロップ	なし
.wav .wave .mp3 .au .aif .aiff .wma .mid .midi	音声	Windows Media Player
.jpeg .jpg .gif .png .bmp	静止画	なし

●各コンテンツを配置（レイアウト）する

［レイアウト］ウィンドウで画面および各コンテンツのサイズや位置などを設定します。

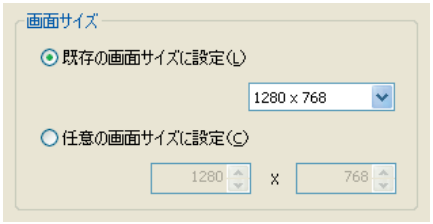


1 **［レイアウト］タブが選択されていることを確認します。**
選択されていない場合は、［レイアウト］タブをクリックします。



2 **「画面開始位置」を設定します。**
背景の左上座標をパネルのどの位置（座標：0～9999）にするかを設定します。
通常は、「X 座標」、「Y 座標」とも「0」を指定します。（デフォルト）

3 **「画面サイズ」を設定します。**
画面サイズが背景のサイズになります。
「既存の画面サイズに設定」ラジオボタンを選択し、プルダウンメニューからサイズを選択します。
通常は、パネルのサイズ（解像度）を設定してください。



・プルダウンメニューに設定したいサイズがない場合は、「任意の画面サイズに設定」ラジオボタンを選択し、サイズを入力します。

・プリセットされているプルダウンメニューの画面サイズを変更するときは、Image Lab をインストールしたフォルダ（C: ￥Program Files ￥NEXTONE ￥ImageLab（デフォルト））にある「screensize.dat」を編集し、

1280,1024
1920,1080
1024,768

のように各行に「“幅”，“高さ”」を記述します。番組エディタを起動したときは、先頭行の画面サイズが選択されます。

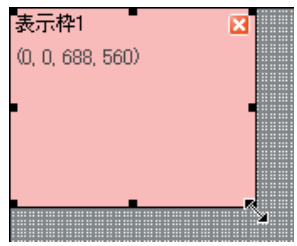
4 「表示枠配置」を設定します。

① 配置する表示枠およびテロップのみの表示にするため、配置しない表示枠およびテロップのチェックボックスをはずします。

表示枠およびテロップの右上にある をクリックしても非表示になります。

② 表示枠およびテロップの「X 座標」、「Y 座標」、「幅」、「高さ」をそれぞれ設定します。

・表示枠およびテロップをクリックすると、周りに 8 箇所のグリップが表示され、選択状態になります。このグリップをマウスでドラッグすることで、表示枠およびテロップの移動、サイズ変更を視覚的に操作することができます。



・【Shift】キーを押しながらドラッグすると、縦横比を保持したままサイズ変更ができます。

・【↑】【↓】【←】【→】キーを押しても、移動できます。

・【Shift】キーを押しながら【↑】【↓】【←】【→】キーを押しても、サイズ変更できます。

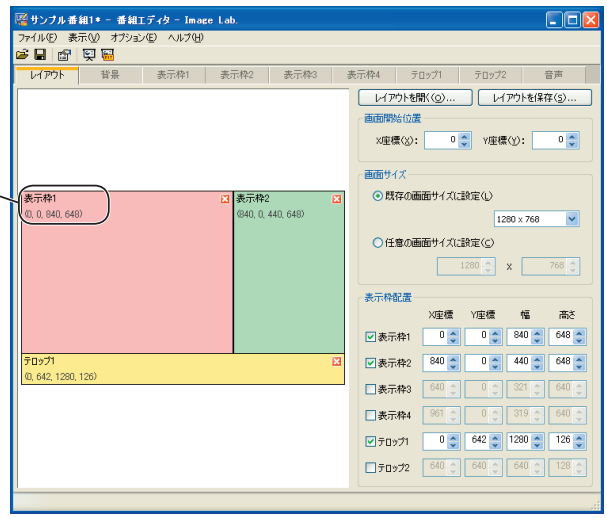
・グリッドを利用して、グリッド単位で正確に操作することができます。(☞23 ページ)

例えば、

表示枠 1　：X 座標 =0、　Y 座標 =0、　幅 =840、 高さ =648
表示枠 2　：X 座標 =840、 Y 座標 =0、　幅 =440、 高さ =648
テロップ 1 ：X 座標 =0、　Y 座標 =640、幅 =1280、高さ =1264

を配置した場合は、次のようになります。

各表示枠、テロップの左上に、名前および（左上の頂点の X 座標，左上の頂点の Y 座標，幅，高さ）が表示されています。



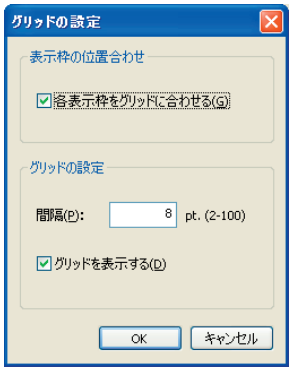
グリッドを利用する

グリッドを利用すると、マウスのドラッグ時にグリッド単位で移動でき、正確に位置を合わせることができます。グリッドは次の方法で設定します。

1 **［オプション］メニューから［グリッド設定］を選択します。**
［グリッドの設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「表示枠の位置合わせ」を設定します。**
グリッド単位で操作する場合は、「各表示枠をグリッドに合わせる」チェックボックスのチェックを入れます。
1pt 単位で操作する場合は、チェックをはずします。

3 **グリッドの「間隔」を設定します。**
2 ～ 100pt の範囲で入力します。（デフォルト 8pt）

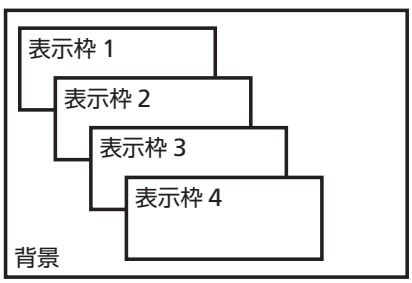


- 「グリッドを表示する」チェックボックスでグリッドの表示 / 非表示を切り替えることができます。グリッドを非表示にしても、「各表示枠をグリッドに合わせる」チェックボックスのチェックを入れている場合は、グリッド単位で移動、サイズ変更ができます。
- 「各表示枠をグリッドに合わせる」チェックボックスのチェックを入れているときでも、次の場合はグリッドを無視して 1pt 単位で操作できます。
  - 【Ctrl】キーを押しながらドラッグすると、1pt 単位で移動、サイズ変更ができます。
  - 【Shift】キーと【Ctrl】キーを押しながらドラッグすると、縦横比を保持したまま 1pt 単位でサイズ変更ができます。
  - 【Ctrl】キーを押しながら【↑】【↓】【←】【→】キーを押すと、1pt 単位で移動ができます。
  - 【Shift】キーと【Ctrl】キーを押しながら【↑】【↓】【←】【→】キーを押すと、1pt 単位でサイズ変更ができます。

表示優先順位について

番組を表示したときに、各表示枠が重なっている場合は、次の順で前面から背面に表示されます。

「表示枠 4」→「表示枠 3」→「表示枠 2」→「表示枠 1」→「背景」



- 表示枠や背景のコンテンツが PowerPoint や EXE ファイル、またはテロップの場合は、表示優先順位に関係なく、最前面に表示されます。また、これらの表示優先順位は設定できません。
- 背景に動画を表示させた場合、その動画が他の表示枠よりも前面に表示されることがあります。動画は背景ではなく、表示枠 1 ～ 4 のいずれかに設定してください。

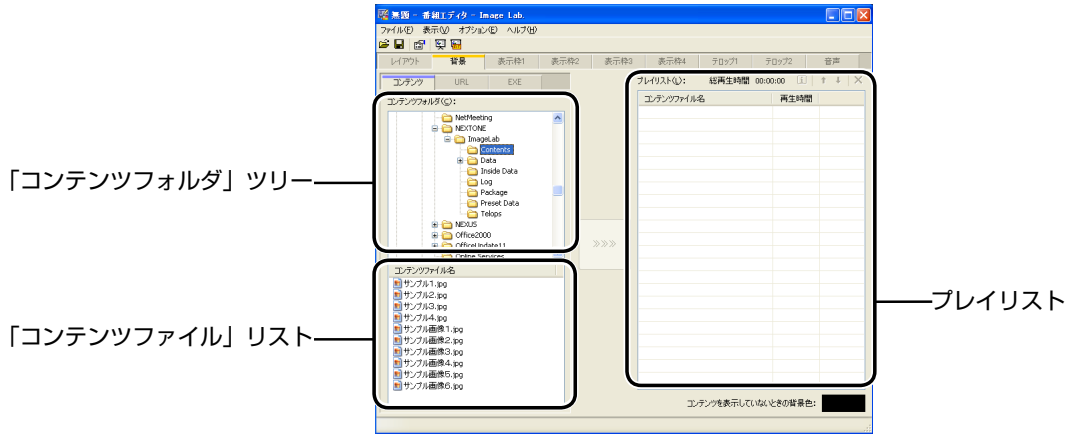
作成したレイアウトを利用する

［レイアウトを保存］をクリックして作成したレイアウトを保存しておくと、次回番組作成時に［レイアウトを開く］をクリックしてレイアウトを開いて利用することができます。
同じレイアウトでコンテンツのみが異なる番組を作成するときなどに便利です。

レイアウト保存では、表示枠の設定内容は保存されません。
画面開始位置、画面サイズ、表示枠配置のみです。

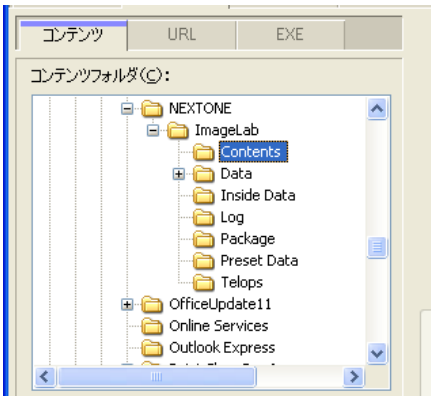
●背景 / 表示枠 1 ～ 4 を設定する

背景および配置した表示枠 1 ～ 4 にコンテンツの内容、再生順序や再生時間などを設定します。



1 **[背景]タブまたは[表示枠 1]～[表示枠 4]タブをクリックします。**

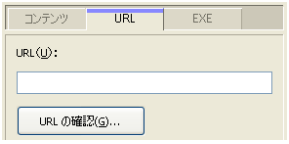
2 **「コンテンツフォルダ」ツリーから使用するコンテンツファイルが保存されているフォルダを選択します。**
［コンテンツ］タブが選択されていることを確認し、選択されていない場合は、［コンテンツ］タブをクリックしてください。

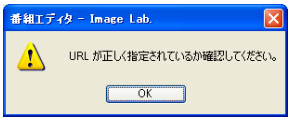


「URL」または［EXE］を指定して表示することもできます。

［URL］タブ

指定した「URL」の HTML をコンテンツとして表示します。
配信先パソコンから参照できる「URL」を入力してください。
ご使用のパソコンがインターネットに接続できる環境であれば、［URL の確認］をクリックすると、入力した URL に接続されます。
正しく接続されるか、また正しく表示されるかを確認してください。
URL が間違っている場合は、右の画面が表示されます。

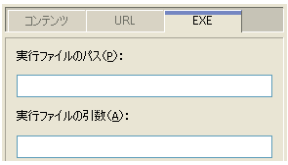




・ホームページには著作権がある場合がありますので、注意してください。
・表示するページにエラーがある場合は、正しく表示できません。
・表示するページにプラグインなどが必要な場合は、対象のプラグインが配信先パソコンにインストールされている必要があります。

［EXE］タブ

指定した「実行ファイルのパス」の EXE ファイルを実行して表示します。「実行ファイルの引数」を付加して実行することもできます。配信先パソコンから参照できる「実行ファイルのパス」を入力してください。



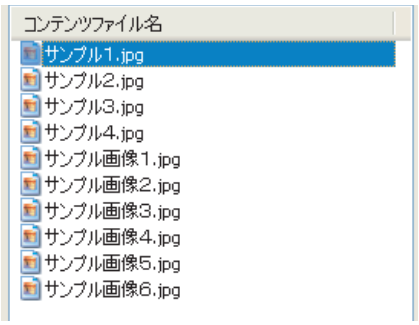
・次の引数が利用できます。
　%L ： 表示枠の左上 X
　%T ： 表示枠の左上 Y
　%W ： 表示枠の幅
　%H ： 表示枠の高さ

・Image Lab では、指定された実行形式ファイルを指定時間に起動 / 終了するのみで、起動された実行形式ファイルの動作を保証するものではありません。

・実行するプログラムの仕様によっては、正常に起動 / 終了できなかったり、正しい位置にウインドウを表示できない場合があります。

3 「コンテンツファイル」リストから使用するコンテンツファイルを選択します。
またはコンテンツファイルをダブルクリックします。

背景および表示枠 1 ～ 4 で使用できるファイル形式は、20 ページを参照してください。



・【Ctrl】キーや【Shift】キーを押しながらクリックすると、複数のコンテンツファイルを同時に選択することができます。

・［コンテンツのプレビュー］ウィンドウで、コンテンツファイルのプレビューを確認することができます。（☞26 ページ）

・HTML コンテンツを使用する場合、HTML 内部で使用している画像や動画などを、必ず対象の HTML ファイルと同じ位置か、下位のフォルダ位置に置いてください（添付ファイル）。
コンテンツファイルのプロパティから追加できます。（☞27 ページ）
添付ファイルは、すべて相対パスで記述するように HTML ファイルを作成する必要があります。

4 »» をクリックします。

プレイリストの最後にコンテンツファイルが登録されます。
プレイリストの詳細は、26 ページを参照してください。

「コンテンツファイル」リストのコンテンツファイルを「プレイリスト」にドラッグしても、登録できます。

5 必要に応じて手順 1 ～ 4 を繰り返し、その他の表示枠も設定します。

コンテンツのプレビュー

［コンテンツのプレビュー］ウィンドウでコンテンツファイルのプレビューを確認することができます。
［表示］メニューから［コンテンツのプレビュー］をクリックして表示できます。
次のファイルは、プレビューがすぐに表示されません。［コンテンツのプレビュー］ウィンドウに表示されたアイコン（テロップの場合は文字列）をクリックすると、プレビューが表示されます。

・2MB 以上のファイル
・PowerPoint（全画面プレビューになります。）
・テロップ（全画面プレビューになります。）

・コンテンツタイプが PowerPoint およびテロップの場合は、表示優先順位に関係なく、最前面に表示されます。
・PowerPoint のデータは、自動的に画面切り替え（自動スライドショー）するように設定し、繰り返し再生するように設定してください。
・番組表示中は、マウスやキーボードで操作（ウィンドウをクリックするなど）を行わないでください。ウインドウの表示順序が変わったり、コンテンツ再生内容が変わる可能性があります。

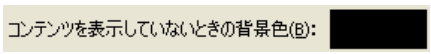
プレイリストについて

プレイリストの上から順にコンテンツファイルが再生されます。
再生時間は、コンテンツを再生する時間です。
総再生時間には、プレイリストに登録されているコンテンツの再生時間の合計が表示されます。

プレイリストの右上にあるボタンをクリックすると、次のような操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
	コンテンツのプロパティ	選択されているコンテンツファイルのプロパティを表示します。詳細は、下記を参照してください。
	コンテンツを 1 つ前に移動	選択されているコンテンツファイルの順番を 1 つ前（上）に移動します。（複数のコンテンツファイルを選択することはできません。）
	コンテンツを 1 つ後に移動	選択されているコンテンツファイルの順番を 1 つ後（下）に移動します。（複数のコンテンツファイルを選択することはできません。）
	コンテンツの削除	選択されているコンテンツファイルをプレイリストから削除します。【Delete】キーを押しても削除できます。

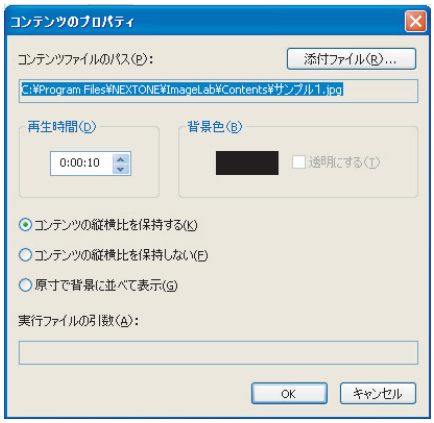
コンテンツファイルを表示していないときの背景色



コンテンツが再生されていないときに、表示枠の範囲を指定した色で塗りつぶして表示します。
色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、背景色を変更できます。

コンテンツファイルのプロパティ

プレイリストのコンテンツファイルを選択し、をクリックすると、［コンテンツのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。
次の内容の確認や設定ができます。



①コンテンツファイルのパス
コンテンツファイルの相対パスが表示されます。
［添付ファイル］をクリックして表示された［添付ファイル］ダイアログボックスでファイルを追加できます。

HTML コンテンツを使用する場合、HTML 内部で使用している画像や動画などを、必ず対象の HTML ファイルと同じ位置か、下位のフォルダ位置に置いてください。添付ファイルは、すべて相対パスで記述するように HTML ファイルを作成する必要があります。

②再生時間
再生時間を設定できます。

③背景色
コンテンツタイプが静止画で、「コンテンツの縦横比を保持する」ラジオボタンをチェックした場合に、コンテンツの背景色を指定した色で塗りつぶして表示します。
色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、背景色を変更できます。
「透明にする」チェックボックスをチェックすると、背景色が透明になります。

背景の場合のみ、背景色を透明にすることはできません。

④「コンテンツの縦横比を保持する」/「コンテンツの縦横比を保持しない」/「原寸で背景に並べて表示」ラジオボタン
コンテンツの縦横比を保持したまま表示する / しないを選択できます。

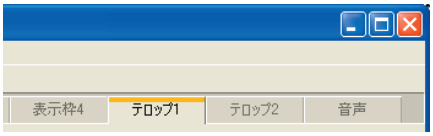
・コンテンツタイプが静止画または Flash の場合のみ有効です。
・背景の場合のみ、「原寸で背景に並べて表示」ラジオボタンが表示されます。
コンテンツタイプが静止画の場合のみ有効です。

⑤実行ファイルの引数
実行ファイルの引数を表示します。

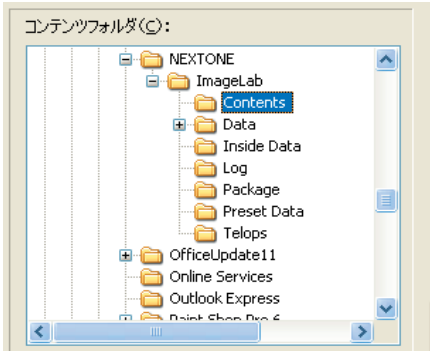
●テロップを設定する

配置したテロップの内容、再生順序や再生時間などを設定します。
テロップファイルの作成方法については、29 ページを参照してください。

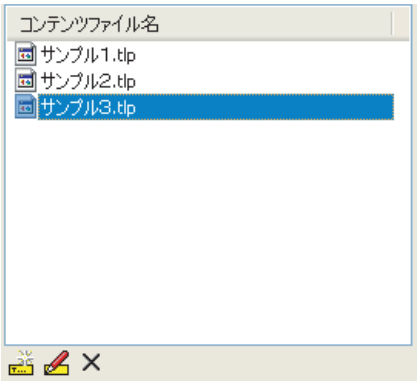
1 **［テロップ 1］または［テロップ 2］タブをクリックします。**



2 **「コンテンツフォルダ」ツリーから使用するテロップファイルが保存されているフォルダを選択します。**



3 **「コンテンツファイル」リストから使用するテロップファイルを選択します。**
またはテロップファイルをダブルクリックします。
テロップ 1、2 で使用できるファイル形式は、20 ページを参照してください。



- 【Ctrl】キーや【Shift】キーを押しながらクリックすると、複数のテロップファイルを同時に選択することができます。
- テロップファイルのプレビューを確認することができます。ただし、全画面プレビューになります。(☞26 ページ)

「コンテンツファイル」リストの下にあるボタンをクリックすると、次のような操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
	テロップの新規作成	テロップエディタが起動し、テロップの新規作成ができます。
	テロップの編集	テロップエディタが起動し、「コンテンツファイル」リストで選択されているテロップの編集ができます。
	テロップの削除	「コンテンツファイル」リストで選択されているテロップの削除ができます。

テロップエディタの詳細は、29 ページを参照してください。

4 **をクリックします。**

プレイリストの最後にテロップファイルが登録されます。
プレイリストの詳細は、26 ページを参照してください。

「コンテンツファイル」リストのテロップファイルを「プレイリスト」にドラッグしても、登録できます。

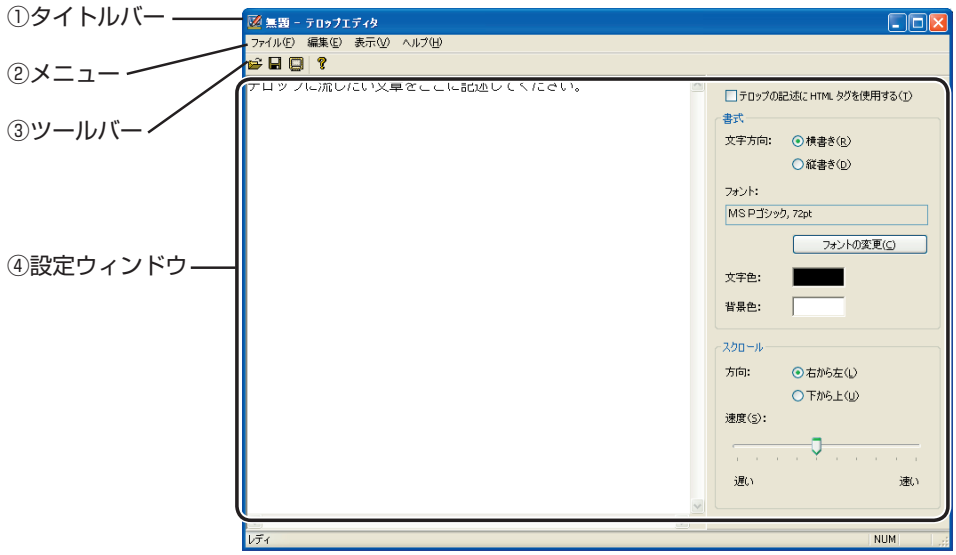
5 **必要に応じて手順 1 ～ 4 を繰り返し、その他のテロップも設定します。**

テロップを作成する

番組に使用するテロップは、次の方法で作成します。

1 **［テロップ 1］タブまたは［テロップ 2］タブをクリックし、「コンテンツファイル」リストの下にある** **をクリックします。**

「テロップエディタ」が起動します。



①タイトルバー

ファイル名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、ファイルを保存すると、そのファイル名に変わります。

開いたファイルの内容が変更されると、ファイル名の後ろに「*（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー
「ファイル」、「編集」、「表示」、「ヘルプ」の 4 種類のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容
ファイル	テロップファイルの新規作成	新しいテロップファイルを開きます。
	テロップファイルを開く	保存されているテロップファイルを読み込みます。
	テロップファイルを保存	現在編集中のテロップファイルを保存します。
	別名で保存	現在編集中のテロップファイルに別の名前を付けて保存します。
編集	切り取り	「テロップ編集エディットボックス」で選択されている文字列を切り取ります。
	コピー	「テロップ編集エディットボックス」で選択されている文字列をコピーします。
	貼り付け	「テロップ編集エディットボックス」のカーソルの位置に、［切り取り］または［コピー］した文字列を貼り付けます。
	元に戻す	「テロップ編集エディットボックス」の直前の操作を元に戻します。
表示	テロップのプレビュー	現在編集中のテロップファイルのプレビューを表示します。
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

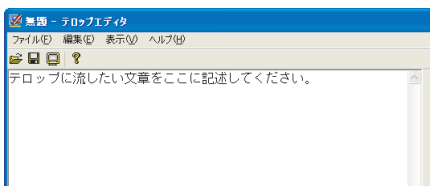
③ツールバー
よく使うメニューはアイコンになっています。ボタンをクリックするだけで、メニューと同じ操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
	テロップを開く	保存されているテロップファイルを読み込みます。
	テロップの上書き保存	現在編集中のテロップファイルを保存します。
	テロップのプレビュー	現在編集中のテロップファイルのプレビューを表示します。 プレビューを終了するときは、【Esc】キーを押します。
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。

④設定ウィンドウ
詳細は手順 2 以降を参照してください。

2 「テロップ編集エディットボックス」にテロップに流したい文章を入力します。

テロップの 1 行の文字数が多いほど、メモリを消費します。文字列長が長くなり過ぎないように、適当な箇所で改行することをお勧めします。



「テロップの記述に HTML タグを使用する」チェックボックスをチェックすると、「テロップ編集エディットボックス」内で、HTML タグを使用して、フォントの色や大きさなどを指定できます。
次の HTML タグを使用できます。

タグ	説明
<FONT>	フォントの色（COLOR）、大きさ（SIZE）、種類（FACE）を指定できます。
<B>	テキストを太字にします。
<I>	テキストを斜体（イタリック）にします。
<U>	テキストに下線（アンダーライン）を引きます。
<S>	打ち消し線を引きます。
<BIG>	テキストのサイズをひとまわり大きくします。
<SMALL>	テキストのサイズをひとまわり小さくします。

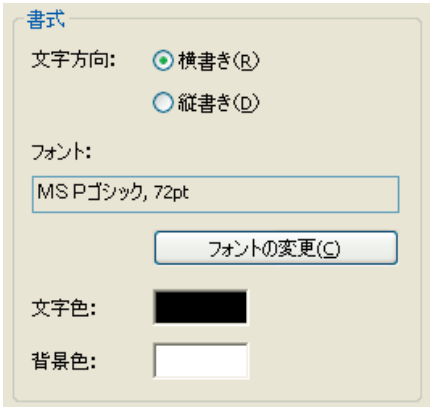
3 「書式」を設定します。

文字方向やフォント、テロップの背景色を設定します。

①「文字方向」の「縦書き」または「横書き」ラジオボタンを選択します。

② [フォントの変更] をクリックすると表示される [フォント] ダイアログボックスで、フォントを変更します。

③「文字色」および「背景色」を設定します。
色が表示されている矩形をクリックすると表示される [色の設定] ダイアログボックスで、変更できます。



・配信先パソコンにも同じフォントがインストールされている必要があります。
・フォントの種類によっては、文字サイズを正確に取得できないものがあり、テロップが表示途中で途切れる場合があります。

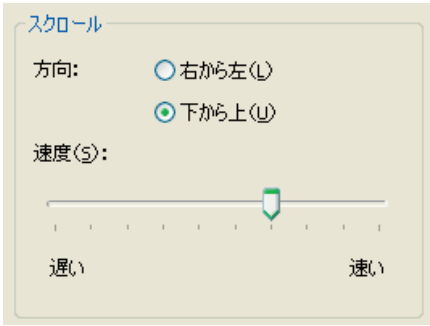
4 「スクロール」を設定します。

テロップのスクロール方向と速度を設定します。

①「方向」の「右から左」または「下から上」ラジオボタンを選択します。

「書式」で「縦書き」ラジオボタンを選択した場合は、「右から左」ラジオボタンを選択することはできません。

②「速度」のスライダーを左右にドラッグして、スクロール速度（10 段階）を設定します。



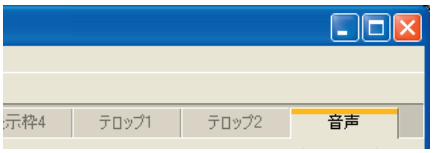
・テロップの速度は、同じ設定でもパソコンの性能によって異なる場合があります。
・テロップのフォントは、表示するパソコン側に対応するフォントがインストールされている必要があります。
・縦型のテロップを使用する場合、すべての文字を全角にしてください。

●音声および音楽を設定する

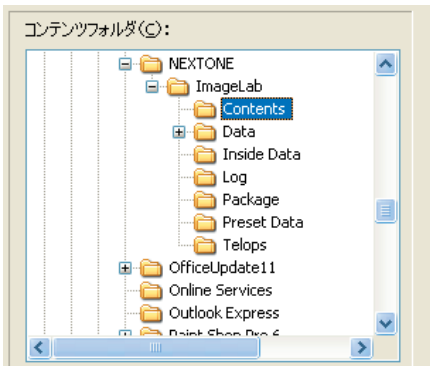
番組表示時の音声および音楽（BGM）を設定します。

他の表示枠に音声付のコンテンツファイルを設定した場合は、両方が再生されます。

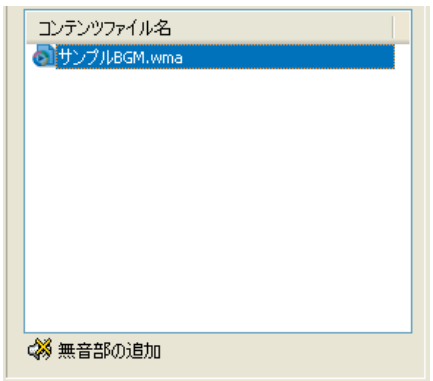
1 **［音声］タブをクリックします。**



2 **「コンテンツフォルダ」ツリーから使用するコンテンツファイルが保存されているフォルダを選択します。**



3 **「コンテンツファイル」リストから使用するコンテンツファイルを選択します。**
またはコンテンツファイルをダブルクリックします。
音声で使用できるファイル形式は、20 ページを参照してください。



- 【Ctrl】キーや【Shift】キーを押しながらクリックすると、複数のコンテンツファイルを同時に選択することができます。
- 音声はレイアウトで配置することはできません。音声として使用するコンテンツファイルに動画を選択した場合、［コンテンツのプレビュー］ウィンドウではプレビューが表示されますが、番組の表示時には、音声のみが使用されます。
- 「コンテンツファイル」リストの下にあるボタン（ ）「無音部の追加」をクリックすると、プレイリストに無音部を追加できます。無音部も他のコンテンツファイルと同じように再生時間や再生順序を設定できます。

4 ** をクリックします。**
プレイリストの最後にコンテンツファイルが登録されます。
プレイリストの詳細は、26 ページを参照してください。

「コンテンツファイル」リストのコンテンツファイルを「プレイリスト」にドラッグしても、登録できます。

●番組を保存する

作成した番組は、2 通りの方法で保存できます。

番組を上書き保存する

現在編集中の番組を上書き保存するときに使用します。

1 **［ファイル］メニューから［番組の上書き保存］をクリックします。**
または をクリックします。
同じファイル名で上書き保存されます。

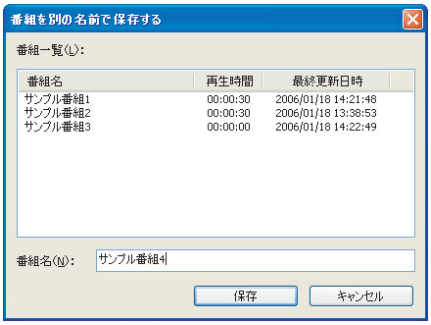
「番組エディタ」の起動直後は、タイトルバーに「無題」と表示されます。この場合上書き保存をすると、［番組を保存する］ダイアログボックスが表示されます。以降の手順は次の「番組を別名で保存する」の手順 2 を参照してください。

番組に名前を付けて保存する

現在編集中の番組に別の名前を付けて保存するときに使用します。

1 **［ファイル］メニューから［番組に名前を付けて保存］をクリックします。**
［番組を別の名前で保存する］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「番組名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。**
別のファイル名で保存されます。

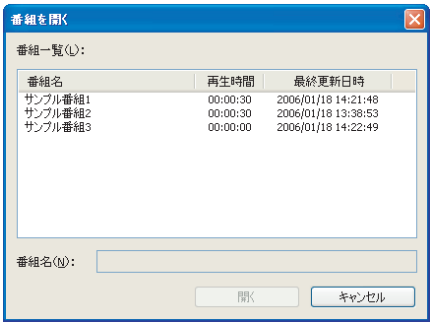


●番組を開く

保存されている番組の中から番組を指定して読み込み、利用することができます。
変更箇所のみを編集し、別の名前で保存すると、効率よく番組を作成できます。

1 **［ファイル］メニューから［番組を開く］をクリックします。**
または をクリックします。
［番組を開く］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「番組一覧」から番組を選択し、［開く］をクリックします。**
選択した番組が番組エディタに読み込まれ、編集できるようになります。



開いた番組を編集した後、上書き保存をしてしまうと、編集した内容が元のファイルに反映されますので、注意してください。

●作成した番組を確認する

作成した番組をプレビュー表示して、確認することができます。

1 **オリジナルサイズでプレビュー表示するときは、［表示］メニューから［番組のプレビュー［オリジナルサイズ］］をクリックします。**
または をクリックします。
現在編集中の番組のプレビューがオリジナルサイズで表示されます。

【F5】キーを押してもプレビューを表示できます。

画面にフィットさせてプレビュー表示するときは、［表示］メニューから［番組のプレビュー［画面にフィット］］をクリックします。
または をクリックします。
現在編集中の番組のプレビューが画面の大きさにフィットさせて表示されます。

2 **プレビューを確認します。**

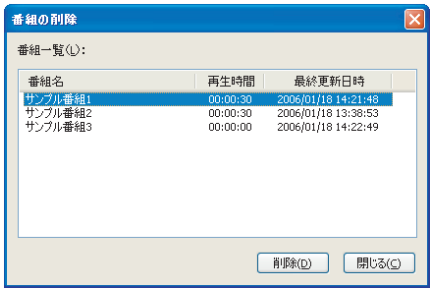
・プレビューを終了するときは、プレビュー画面をクリックして【Esc】キーを押します。
・作成した番組の画面サイズがパソコンのモニタの表示解像度より大きい場合は、プレビューを全画面表示することができません。

●番組を削除する

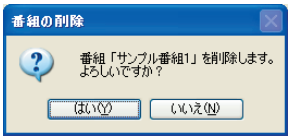
不要になった番組を削除することができます。

1 **［ファイル］メニューから［番組の削除］をクリックします。**
［番組の削除］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「番組一覧」から番組を選択し、［削除］をクリックします。**
選択した番組が削除されます。



3 **［はい］をクリックします。**



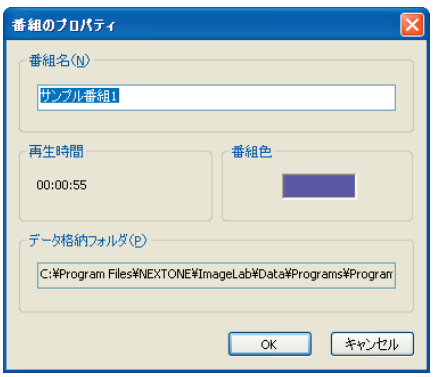
4 **［閉じる］をクリックします。**

●番組のプロパティを表示・変更する

番組のプロパティの表示と番組色の変更できます。

1 **［ファイル］メニューから［番組のプロパティをクリックします。**
または をクリックします。
［番組のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

「番組名」「再生時間」「番組色」が確認できます。
- 「番組名」を変更できます。
- 色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、番組色を変更できます。



2 **［OK］をクリックします。**

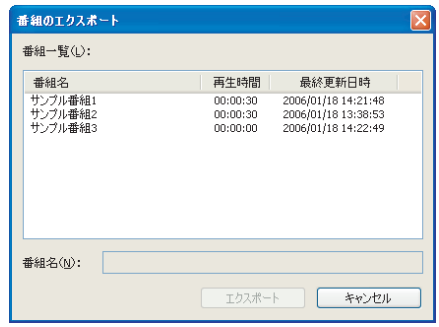
●番組をインポート / エクスポートする

番組をエクスポートする

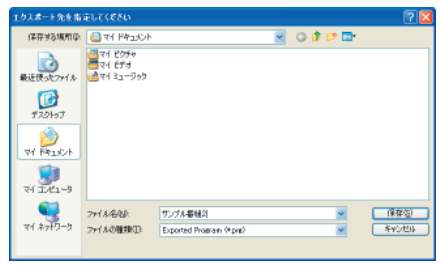
作成した番組を他のパソコンの Image Lab で利用するときは、エクスポート機能で番組を書き出します。

1 **［ファイル］メニューから［番組のエクスポート］をクリックします。**
［番組のエクスポート］ダイアログボックスが表示されます。

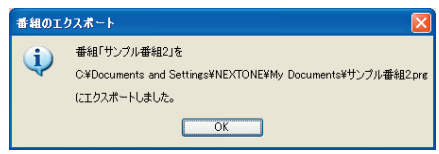
2 **「番組一覧」から番組を選択し、［エクスポート］をクリックします。**
［エクスポート先を指定してください］ダイアログボックスが表示されます。



3 **保存場所を指定し、「ファイル名」を入力して、［保存］をクリックします。**
［番組のエクスポート］ダイアログボックスが表示されます。



4 **［OK］をクリックします。**
これで番組のエクスポートは完了です。

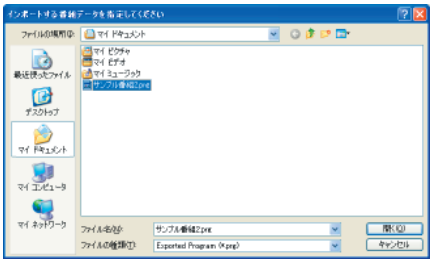


番組をインポートする

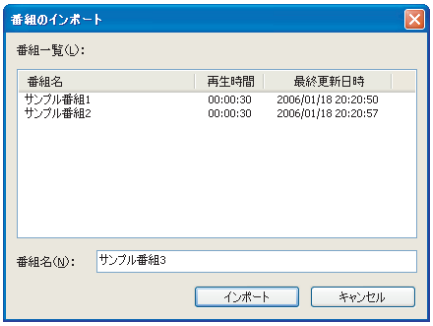
他のパソコンの Image Lab で作成した番組を利用するときは、エクスポートされた番組をインポート機能で読み込みます。

1 **［ファイル］メニューから［番組のインポート］をクリックします。**
［インポートする番組を指定してください］ダイアログボックスが表示されます。

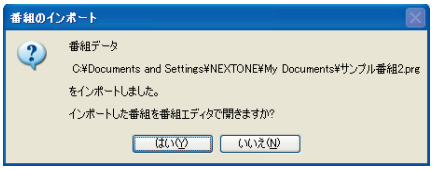
2 **インポートするファイル（.prg）を選択し、［開く］をクリックします。**
［番組のインポート］ダイアログボックスが表示されます。



3 **「番組名」に名前を入力し、［インポート］をクリックします。**
入力したファイル名で番組が保存されます。



4 **［はい］をクリックします。**
これで番組のインポートは完了です。



タイムテーブル作成・編集

タイムテーブルエディタを使用して、番組エディタで作成した番組を 1 日のどの時間に表示するかを設定する方法について説明します。

タイムテーブルエディタの基本画面について

●タイムテーブルエディタを起動する

1 **ランチャ画面で** **をクリックします。**
「タイムテーブルエディタ」が起動します。

起動直後は、何も番組が配置されていない新しいタイムテーブルが表示されます。この画面を元に内容を設定し、タイムテーブルを完成させます。

Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［NEXTONE Image Lab］－［各種ツール］－［タイムテーブルエディタ］の順にクリックしても、起動できます。

●タイムテーブルエディタの基本画面

①タイトルバー

ファイル名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、ファイルを保存すると、そのファイル名に変わります。
開いたファイルの内容が変更されると、ファイル名の後ろに「*（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー

「ファイル」、「編集」、「設定」、「ヘルプ」の４種類のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容	参照ページ
ファイル	タイムテーブルの新規作成	新しいタイムテーブルを開きます。	−
	タイムテーブルを開く	保存されているタイムテーブルを読み込みます。	☞43 ページ
	タイムテーブルの保存	現在編集中のタイムテーブルを保存します。	☞42 ページ
	タイムテーブルに名前を付けて保存	現在編集中のタイムテーブルに別の名前を付けて保存します。	☞42 ページ
	タイムテーブルの削除	保存されているタイムテーブルの中からタイムテーブルを指定して削除します。	☞44 ページ
	タイムテーブルの実行テスト	現在編集中のタイムテーブルを実行テストします。	☞43 ページ
	タイムテーブルのプロパティ	タイムテーブルのプロパティを表示します。	☞44 ページ
	終了	タイムテーブルエディタを終了します。	−
編集	すべてを選択	タイムテーブルに配置されている番組をすべて選択します。	−
	削除	選択されている番組をタイムテーブルから削除します。【Delete】キーを押しても削除できます。	−
	コピー	選択されている番組をコピーします。	−
	貼り付け	コピーした番組をタイムテーブルに配置します。 タイムテーブル上の番組を選択しているときは番組終了時刻のすぐ後に、選択していないときは 00:00 に貼り付けられます。	−
設定	タイムテーブルの開始時刻と終了時刻の設定	タイムテーブルを目的の時間帯（開始時刻と終了時刻）に設定します。営業時間などの時間帯を設定したいときに利用します。	☞41 ページ
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	−

③ツールバー

よく使うメニューはアイコンになっています。ボタンをクリックするだけで、メニューと同じ操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容	参照ページ
	タイムテーブルを開く	保存されているタイムテーブルを読み込みます。	☞43 ページ
	タイムテーブルの保存	現在編集中のタイムテーブルを保存します。	☞42 ページ

④番組ウィンドウ

番組の詳細を設定します。

⑤タイムテーブルウィンドウ

タイムテーブルの詳細を表示・設定します。

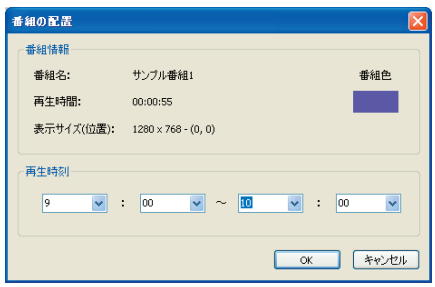
タイムテーブルを作成する

●作成した番組をタイムテーブルに登録する

1 **［番組］タブの「番組一覧」から使用する番組を選択し、»» をクリックします。**
または番組をダブルクリックします。
［番組の配置］ダイアログボックスが表示されます。

・「番組名」、「再生時間」、「表示サイズ」、「表示位置」の 4 項目があります。
・アイコンの色は「番組色」を示します。「番組エディタ」の［ファイル］メニューから［番組のプロパティ］をクリックして変更できます。(☞35 ページ)

2 **「再生時刻」を設定します。**
番組を表示する時間帯になります。
00:00 ～ 24:00 の間で指定してください。



3 **［OK］をクリックします。**
タイムテーブルに番組が登録されます。

「番組一覧」の番組を「タイムテーブル」にドラッグしても、登録できます。また、登録された番組はタイムテーブルで変更できます。(☞41 ページ)

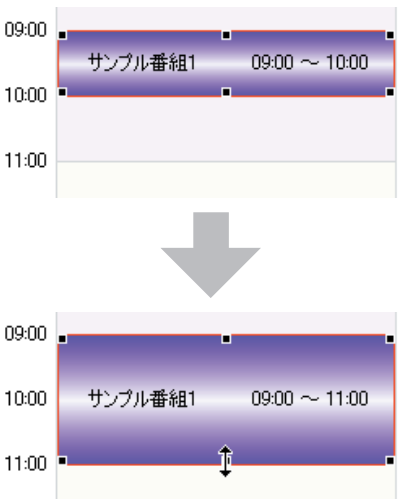
4 **必要に応じて手順 1 ～ 3 を繰り返し、1 日に表示したい全ての番組を設定します。**

●タイムテーブルを調整する

タイムテーブルの右上にあるボタンをクリックすると、次のような操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
	登録番組のプレビュー（オリジナルサイズ）	選択されている番組のプレビューをオリジナルサイズで表示します。
	登録番組のプレビュー（画面にフィット）	選択されている番組のプレビューを画面の大きさにフィットさせて表示します。
	登録番組のプロパティ	選択されている番組のプロパティを表示します。
	登録番組の削除	選択されている番組をタイムテーブルから削除します。【Delete】キーを押しても削除できます。
	登録番組のコピー	選択されている番組をコピーします。
	登録番組の貼り付け	コピーした番組をタイムテーブルに配置します。 タイムテーブル上の番組を選択しているときは番組終了時刻のすぐ後に、選択していないときは 00:00 に貼り付けられます。

タイムテーブルに配置された番組をクリックすると、選択状態になります。
グリップをマウスでドラッグすることで、番組の再生時刻、実行時刻の変更を視覚的に操作することができます。

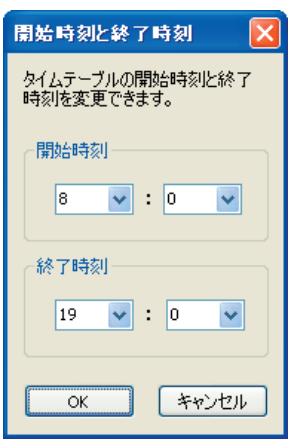


開始時刻と終了時刻を変更する

1 **［設定］メニューから［タイムテーブルの開始時刻と終了時刻の設定］をクリックします。**
［開始時刻と終了時刻］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「開始時刻」と「終了時刻」をそれぞれ設定します。**
00:00 ～ 24:00 の間で指定してください。

3 **［OK］をクリックします。**
タイムテーブルに開始時刻と終了時刻が反映されます。



表示単位を変更する

「表示単位」プルダウンメニューから「60 分 /30 分 /15 分 /10 分 /5 分」から選択できます。

●タイムテーブルを保存する

作成したタイムテーブルは、2 通りの方法で保存できます。

タイムテーブルを上書き保存する

現在編集中のタイムテーブルを上書き保存するときに使用します。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルの保存］をクリックします。**
または をクリックします。
同じファイル名で上書き保存されます。

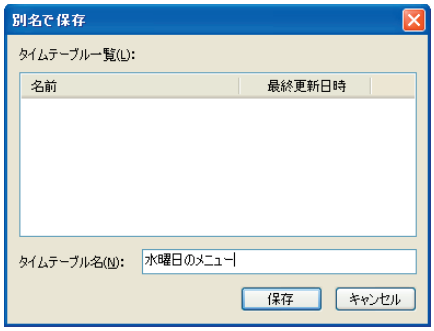
「タイムテーブルエディタ」の起動直後は、タイトルバーに「無題」と表示されます。この場合上書き保存をすると、［タイムテーブルの保存］ダイアログボックスが表示されます。以降の手順は次の「タイムテーブルを別名で保存する」の手順 2 を参照してください。

タイムテーブルに名前を付けて保存する

現在編集中のタイムテーブルに別の名前を付けて保存するときに使用します。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルに名前を付けて保存］をクリックします。**
［別名で保存］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「タイムテーブル名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。**
別のファイル名で保存されます。

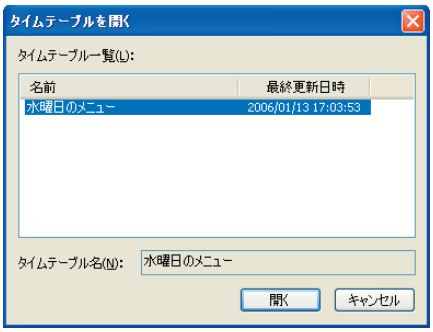


●タイムテーブルを開く

保存されているタイムテーブルの中からタイムテーブルを指定して読み込み、利用することができます。
変更箇所のみを編集し、別の名前で保存すると、効率よくタイムテーブルを作成できます。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルを開く］をクリックします。**
または をクリックします。
［タイムテーブルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「タイムテーブル一覧」からタイムテーブルを選択し、［開く］をクリックします。**
選択したタイムテーブルがタイムテーブルエディタに読み込まれ、編集できるようになります。



開いたタイムテーブルを編集した後、上書き保存をしてしまうと、編集した内容が元のファイルに反映されますので、注意してください。

●作成したタイムテーブルを確認する

作成したタイムテーブルをプレビュー表示して、確認することができます。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルの実行テスト］をクリックします。**
プレビューが表示されます。

2 **プレビューを確認します。**

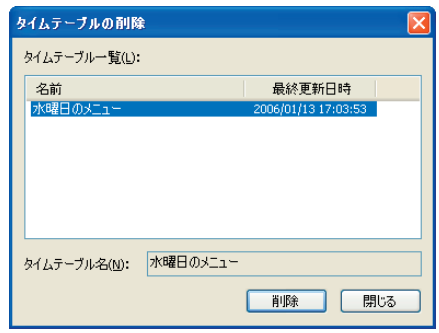
・プレビューを終了するときは、プレビュー画面をクリックして【Esc】キーを押します。
・作成した番組の画面サイズがパソコンのモニタの表示解像度より大きい場合は、プレビューで番組の画面全体を表示することができません。

●タイムテーブルを削除する

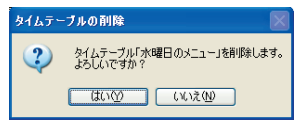
不要になったタイムテーブルを削除することができます。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルの削除］をクリックします。**
［タイムテーブルの削除］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「タイムテーブル一覧」からタイムテーブルを選択し、［削除］をクリックします。**
選択したタイムテーブルが削除されます。



3 **［はい］をクリックします。**



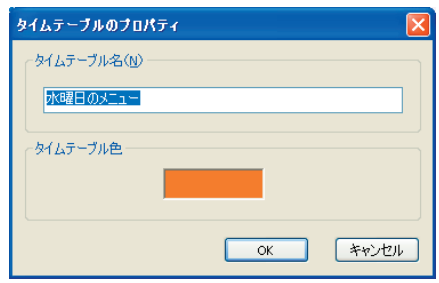
4 **［閉じる］をクリックします。**

●タイムテーブルのプロパティを表示・変更する

タイムテーブルのプロパティの表示とタイムテーブルの色の変更ができます。

1 **［ファイル］メニューから［タイムテーブルのプロパティ］をクリックします。**
［タイムテーブルのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

「タイムテーブル名」「タイムテーブル色」が確認できます。
- 「タイムテーブル名」を変更できます。
- 色が表示されている矩形をクリックすると表示される［色の設定］ダイアログボックスで、番組色を変更できます。



2 **［OK］をクリックします。**

スケジュール作成・編集

スケジュールエディタを使用して、タイムテーブルエディタで作成したタイムテーブルをどの日に表示するかを設定する方法について説明します。

スケジュールエディタの基本画面について

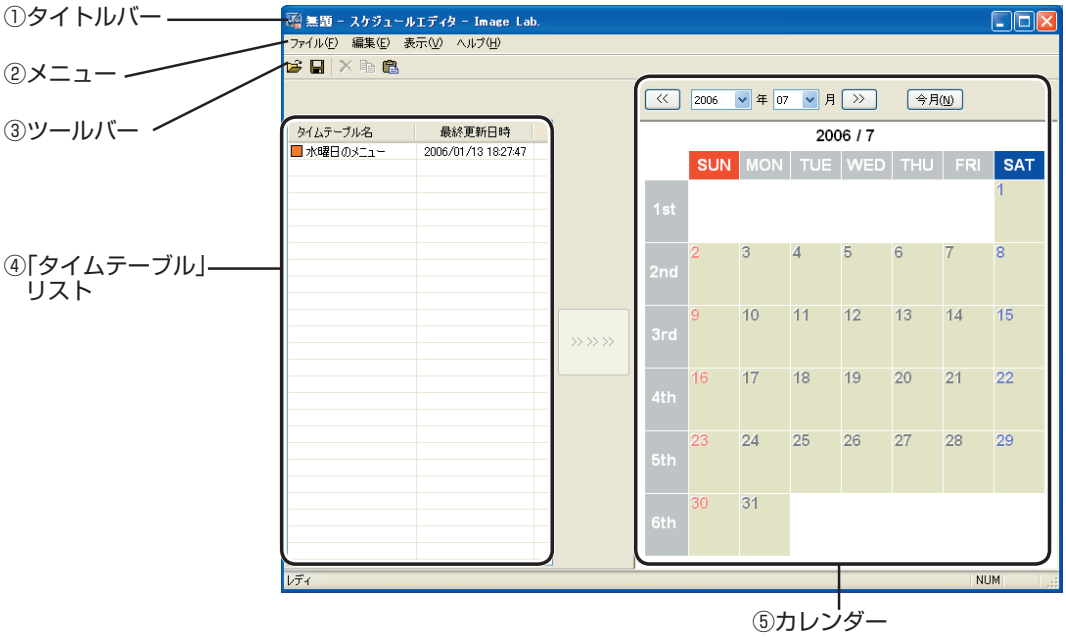
●スケジュールエディタを起動する

1 **ランチャ画面で** **をクリックします。**
「スケジュールエディタ」が起動します。

起動直後は、何もスケジュールが配置されていない新しいスケジュールが表示されます。この画面を元に内容を設定し、スケジュールを完成させます。

Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［NEXTONE Image Lab］－［各種ツール］－［スケジュールエディタ］の順にクリックしても、起動できます。

●スケジュールエディタの基本画面



①タイトルバー

ファイル名が表示されます。起動直後は「無題」と表示され、ファイルを保存すると、そのファイル名に変わります。
開いたファイルの内容が変更されると、ファイル名の後ろに「*（アスタリスク）」が表示されます。

②メニュー

「ファイル」、「編集」、「表示」、「ヘルプ」の 4 種類のメニューがあります。各メニューの内容は次の通りです。

メニュー名		内容	参照ページ
ファイル	スケジュールの新規作成	新しいスケジュールを開きます。	–
	スケジュールを開く	保存されているスケジュールを読み込みます。	☞49 ページ
	スケジュールの上書き保存	現在編集中のスケジュールを保存します。	☞49 ページ
	スケジュールに名前を付けて保存	現在編集中のスケジュールに別の名前を付けて保存します。	☞49 ページ
	スケジュールの削除	保存されているスケジュールの中からスケジュールを指定して削除します。	☞50 ページ
	終了	スケジュールを終了します。	–
編集	タイムテーブルの追加	「タイムテーブル」リストで選択されているタイムテーブルをスケジュールに追加します。	☞47 ページ
	タイムテーブルの削除	「カレンダー」で選択されているタイムテーブルを削除します。	☞48 ページ
	タイムテーブルのコピー	選択されているタイムテーブルをコピーします。	–
	タイムテーブルの貼り付け	コピーしたタイムテーブルをスケジュールに配置します。	–
	すべてを選択	スケジュールに配置されているタイムテーブルをすべて選択します。	–
表示	前の月を表示	カレンダーで現在表示されている月の前の月を表示します。	☞48 ページ
	次の月を表示	カレンダーで現在表示されている月の次の月を表示します。	☞48 ページ
	今月を表示	カレンダーを今月の表示にします。	☞48 ページ
	最新の情報に更新	「タイムテーブル」リストを最新の状態にします。	–
ヘルプ	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	–

③ツールバー

よく使うメニューはアイコンになっています。ボタンをクリックするだけで、メニューと同じ操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容	参照ページ
	スケジュールを開く	保存されているスケジュールを読み込みます。	☞49 ページ
	スケジュールの上書き保存	現在編集中のスケジュールを保存します。	☞49 ページ
	タイムテーブルの削除	「カレンダー」で選択されているタイムテーブルを削除します。【Delete】キーを押しても削除できます。	☞48 ページ
	タイムテーブルのコピー	選択されているタイムテーブルをコピーします。	–
	タイムテーブルの貼り付け	コピーしたタイムテーブルをスケジュールに配置します。	–

④「タイムテーブル」リスト

タイムテーブルエディタで作成したタイムテーブルが一覧表示されます。
「タイムテーブル名」「最終更新日」の 2 項目があります。

アイコンの色は「タイムテーブルの色」を示します。「タイムテーブルエディタ」の［ファイル］メニューから［タイムテーブルのプロパティ］をクリックして変更できます。(☞44 ページ)

⑤カレンダー

スケジュールをカレンダーで表示し、このカレンダーにタイムテーブルを配置します。

スケジュールを作成する

●作成したタイムテーブルをスケジュールに登録する

1 **「タイムテーブル」リストから使用するタイムテーブルを選択し、»»»をクリックします。**
またはタイムテーブルをダブルクリックします。
または［編集］メニューから［タイムテーブルの追加］をクリックします。
［タイムテーブルの追加］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「追加期間」を設定します。**
番組を表示する期間になります。
2005/1/1 ～ 2020/12/31 の間で指定してください。
「追加オプション」を設定しない場合は、「開始」から「終了」期間までの全ての日にタイムスケジュールが追加されます。

「追加オプション」を利用すると、追加期間内の指定した曜日または週のみにタイムテーブルを追加できます。

①「曜日指定」チェックボックスをチェックし、「日」～「土」チェックボックスをチェックすると、追加期間中の指定した曜日だけにタイムテーブルを追加します。
②「週指定」チェックボックスをチェックし、「第 1 週」～「第 6 週」チェックボックスをチェックすると、追加期間中の指定した週だけにタイムテーブルを追加します。
③「曜日指定」と「週指定」をそれぞれ指定した場合は、両方の条件を満たした日だけをタイムテーブルに追加します。
例えば、「曜日指定」を「日」、「週指定」を「第 1 週」と設定した場合は、毎月第 1 週の火曜日になります。

3 **［OK］をクリックします。**
スケジュールにタイムテーブルが登録されます。

「タイムテーブル」リストのタイムテーブルを「カレンダー」にドラッグしても、登録できます。
また、登録されたタイムテーブルはカレンダーで変更できます。(☞48 ページ)

4 **必要に応じて手順 2 ～ 3 を繰り返し、表示したい全てのタイムテーブルをスケジュールに設定します。**

カレンダーについて

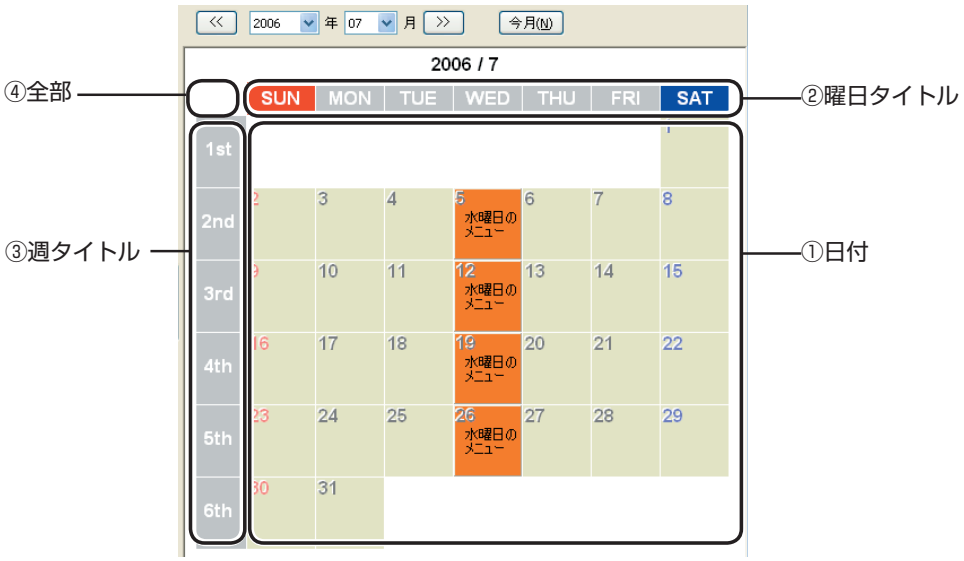
カレンダーは、2005 年 1 月～ 2020 年 12 月の期間を表示できます。
タイムテーブルが登録されている日は、「タイムテーブルの色」と「タイムテーブル名」が表示が表示されます。

カレンダーの上にあるボタンとプルダウンメニューで、次の操作ができます。

アイコン	メニュー名	内容
<<	前の月を表示	現在表示されている月の前の月を表示します。
2006	年を選択	現在表示されている月の選択した年を表示します。
07	月を選択	現在表示されている年の選択した月を表示します。
>>	次の月を表示	現在表示されている月の次の月を表示します。
今月(N)	今月を表示	今月の表示にします。

・【Ctrl】キーや【Shift】キーを押しながらクリックすると、複数の日を同時に選択することができます。
・タイムテーブルを選択して【Delete】キーをクリックすると、カレンダーから削除できます。

タイムテーブルをドラッグする場所により、登録される日が変わります。
既にタイムテーブルが登録されている日には、上書きされません。



①日付　　：ドラッグした日に登録されます。
②曜日タイトル：表示されている月のドラッグした曜日に登録されます。
③週タイトル　：表示されている月のドラッグした週に登録されます。
④全部　　：表示されている月の全部の日に登録されます。

●スケジュールを保存する

作成したスケジュールは、2 通りの方法で保存できます。

スケジュールを上書き保存する

現在編集中のスケジュールを上書き保存するときに使用します。

1 **［ファイル］メニューから［スケジュールの上書き］をクリックします。**
または をクリックします。
同じファイル名で上書き保存されます。

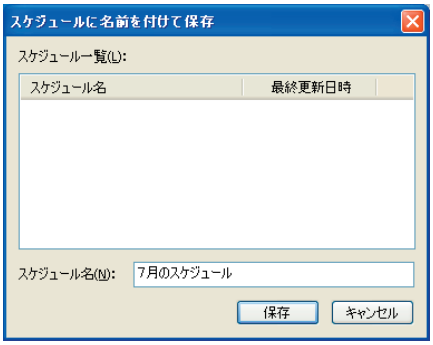
「スケジュールエディタ」の起動直後は、タイトルバーに「無題」と表示されます。この場合上書き保存をすると、［スケジュールの上書き保存］ダイアログボックスが表示されます。以降の手順は次の「スケジュールに名前を付けて保存する」の手順 2 を参照してください。

スケジュールに名前を付けて保存する

現在編集中のスケジュールに別の名前を付けて保存するときに使用します。

1 **［ファイル］メニューから［スケジュールに名前を付けて保存］をクリックします。**
［スケジュールに名前を付けて保存］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「スケジュール名」に名前を入力し、［保存］をクリックします。**
別のファイル名で保存されます。



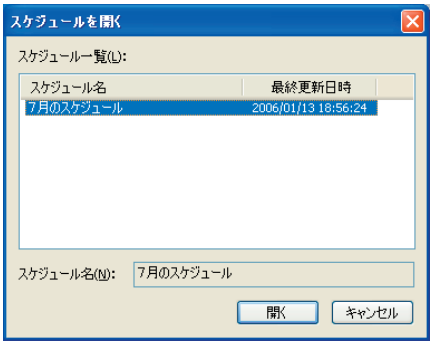
●スケジュールを開く

保存されているスケジュールの中からスケジュールを指定して読み込み、利用することができます。
変更箇所のみを編集し、別の名前で保存すると、効率よくスケジュールを作成できます。

1 **［ファイル］メニューから［スケジュールを開く］をクリックします。**
または をクリックします。
［スケジュールを開く］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「スケジュール一覧」からスケジュールを選択し、［開く］をクリックします。**
選択したスケジュールがスケジュールエディタに読み込まれ、編集できるようになります。

開いたスケジュールを編集した後、上書き保存をしてしまうと、編集した内容が元のファイルに反映されますので、注意してください。



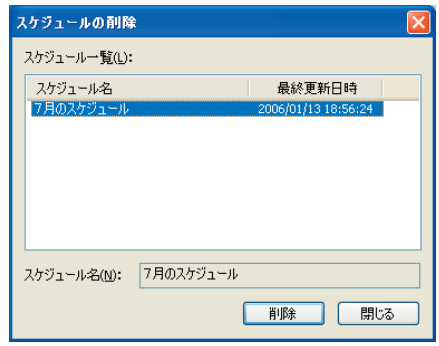
●スケジュールを削除する

不要になったスケジュールを削除することができます。

1 **［ファイル］メニューから［スケジュールの削除］をクリックします。**
［スケジュールの削除］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「スケジュール一覧」からスケジュールを選択し、［削除］をクリックします。**
選択したスケジュールが削除されます。

3 **［閉じる］をクリックします。**

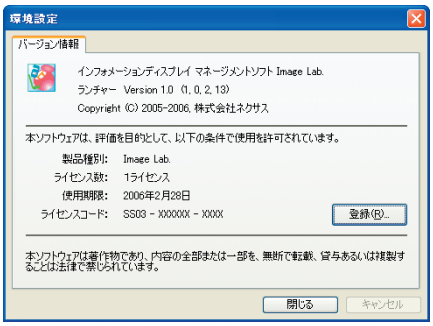


バージョン情報

バージョン情報では、Image Lab のバージョン情報を確認できます。

バージョン情報を確認する

1 **ランチャ画面で** バージョン情報 **をクリックします。**
［環境設定］ダイアログボックスが起動します。



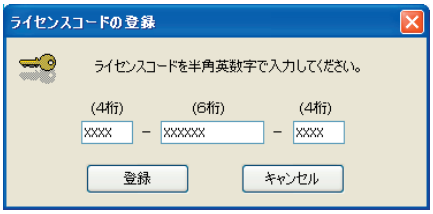
［バージョン情報］タブでは、ご使用の Image Lab のバージョン情報が表示されています。
Image Lab で不具合などが発生し、当社にお問い合わせいただいた際には、このバージョン情報をご確認させていただく場合がございます。バージョン情報は、不具合に備えてメモ書きなどに控えておいてください。

ライセンスコードを登録する

インストール時に仮のライセンスコードを入力してご使用の場合は、2 ヶ月間の試用期限があります。
試用期限が過ぎる前に、ライセンスコードを登録してください。
ライセンスコードは次の方法で登録します。

1 **［登録］をクリックします。**
［ライセンスコードの登録］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「ライセンスコード」を入力し、［登録］をクリックします。**
CD-ROM ケースに記載されている「シリアル No.」を入力してください。



スケジュール配信

スケジュール配信ツールを使用して、スケジュールエディタで作成したスケジュールを配信先パソコンに USB メモリなどの外部記憶装置を利用して配信する方法について説明します。

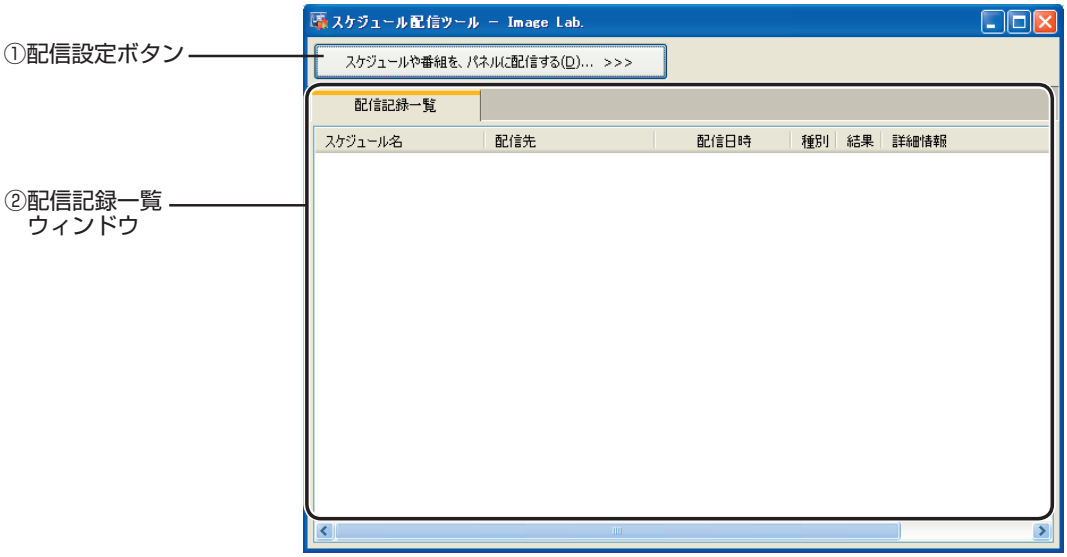
スケジュール配信ツールの基本画面について

●スケジュール配信ツールを起動する

1 **ランチャ画面で** **をクリックします。**
「スケジュール配信ツール」が起動します。

Windows タスクバーの［スタート］ボタンから［すべてのプログラム］－［NEXTONE Image Lab］－［各種ツール］－［スケジュール配信ツール］の順にクリックしても、起動できます。

●スケジュール配信ツールの基本画面



①配信設定ボタン

Image Lab のシステムや配信方法の詳細を設定するためのウィザードを起動します。

②配信記録一覧ウィンドウ

配信記録の一覧を表示します。

スケジュールを配信する

スケジュールを配信するには、次の方法があります。
・USB メモリなどの外部機器を使用して配信する
・自分自身（マイコンピュータ）へ配信する

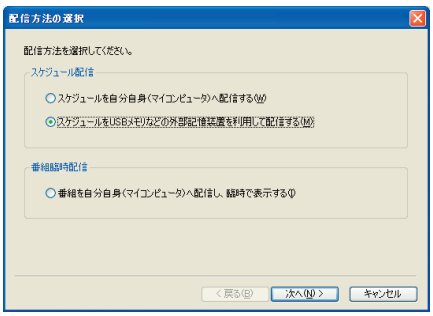
● USB メモリなどの外部記憶装置を利用して配信する

USB メモリなどの外部記憶装置を利用してスケジュールを配信する方法について説明します。

・転送が完了するまで、USB メモリなどの外部記憶装置をパソコンから取りはずさないでください。
・USB メモリなどの外部記憶装置によっては、正常に配信できない場合があります。

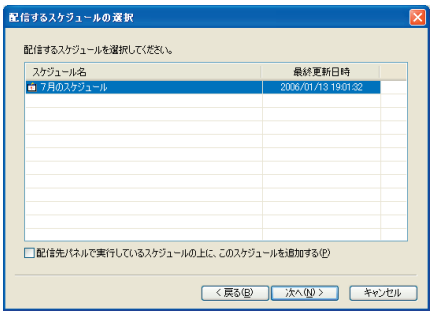
1 **［スケジュールや番組を、パネルに配信する］をクリックします。**
［配信方法の選択］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「スケジュールを USB メモリなどの外部記憶装置を利用して配信する」ラジオボタンを選択し、［次へ］をクリックします。**
［配信するスケジュールの選択］ダイアログボックスが表示されます。

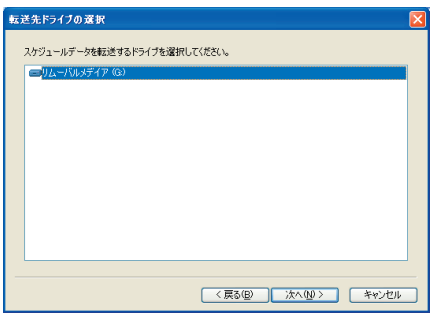


3 **スケジュールを選択します。**
配信先パソコンの現在のスケジュールに、選択したスケジュールを追加する場合は、「配信先パネルで実行しているスケジュールの上に、このスケジュールを追加する」チェックボックスをチェックします。チェックしていない場合は、配信先パソコンの現在のスケジュールを選択したスケジュールに置き換えます。

4 **［次へ］をクリックします。**
［転送先ドライブの選択］ダイアログボックスが表示されます。

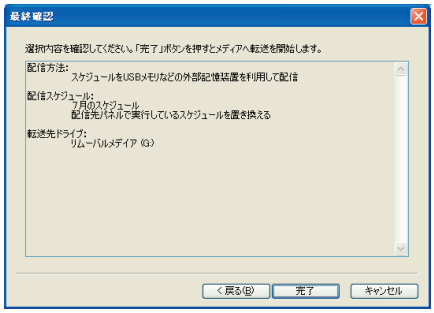


5 **転送先ドライブを選択します。**

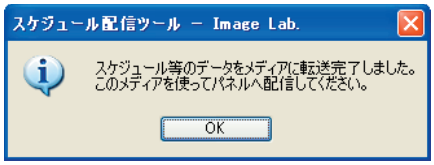


6 **［次へ］をクリックします。**
［最終確認］ダイアログボックスが表示されます。

7 **内容を確認し、［完了］をクリックします。**
配信が実行されます。



8 **［OK］をクリックします。**



9 **タスクトレイの安全な取り外しアイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから［ハードウェアの安全な取り外し］をクリックします。**
［ハードウェアの安全な取り外し］ダイアログボックスが表示されます。

10 **ハードウェアデバイスを選択し、［停止］をクリックします。**
［ハードウェアデバイスの停止］ダイアログボックスが表示されます。

11 **［OK］をクリックします。**

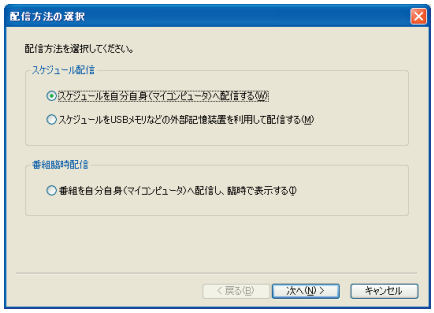
12 **「安全に取り外すことができます」という内容のメッセージが表示されたら、転送した USB メモリなどの外部記憶装置をパソコンから取りはずします。**

13 **配信先パソコンに USB メモリなどの外部記憶装置を挿入します。**
自動的にスケジュールが配信され、完了すると USB メモリなどの外部記憶装置は自動的に停止します。メッセージを確認し、取りはずしてください。

●自分自身（マイコンピュータ）へ配信する

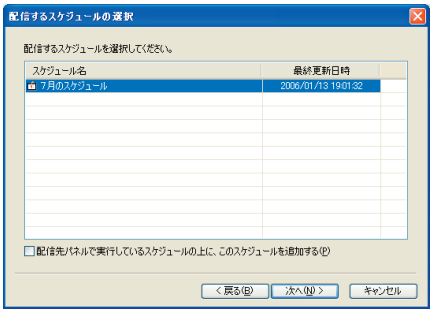
1 **［スケジュールや番組を、パネルに配信する］をクリックします。**
［配信方法の選択］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「スケジュールを自分自身（マイコンピュータ）へ配信する」ラジオボタンを選択し、［次へ］をクリックします。**
［配信するスケジュールの選択］ダイアログボックスが表示されます。



3 **スケジュールを選択します。**

自分自身（マイコンピュータ）の現在のスケジュールに、選択したスケジュールを追加する場合は、「配信先パネルで実行しているスケジュールの上に、このスケジュールを追加する」チェックボックスをチェックします。チェックしていない場合は、自分自身（マイコンピュータ）の現在のスケジュールを選択したスケジュールに置き換えます。

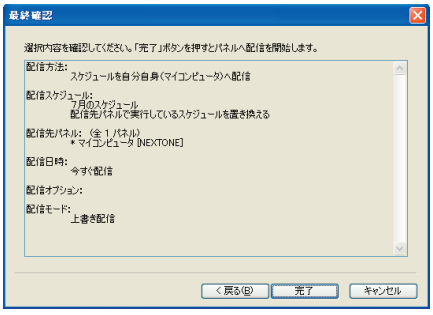


4 **［次へ］をクリックします。**

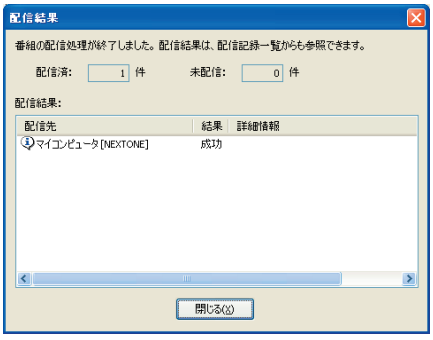
［最終確認］ダイアログボックスが表示されます。

5 **内容を確認し、［完了］をクリックします。**

配信が実行されます。



6 **右のような画面が表示されるので、成功したことを確認し、［閉じる］をクリックします。**



正常に配信できなかった場合は、画面に表示される指示に従って操作してください。

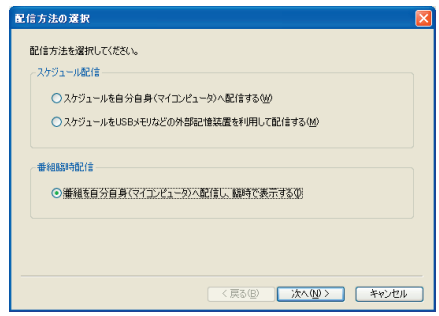
番組を臨時で表示する

番組を自分自身（マイコンピュータ）に臨時で表示する方法について説明します。

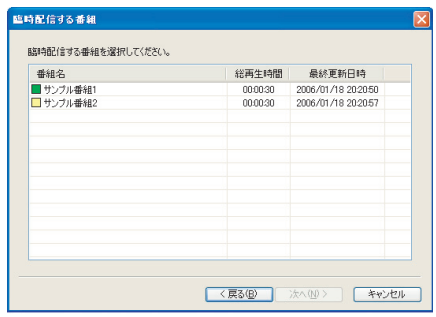
・Image Lab スタンドアロン版のみの機能です。
・USB メモリなどの外部記憶装置を利用して、番組を臨時で表示することはできません。

1 **［スケジュールや番組を、パネルに配信する］をクリックします。**
［配信方法の選択］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「番組を自分自身（マイコンピュータ）へ配信し、臨時で表示する」ラジオボタンを選択し、［次へ］をクリックします。**
［臨時配信する番組］ダイアログボックスが表示されます。



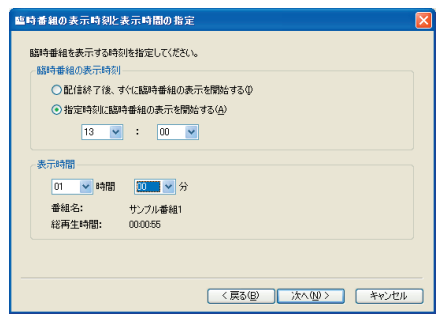
3 **番組を選択し、［次へ］をクリックします。**
［臨時番組の表示時刻と表示時間の指定］ダイアログボックスが表示されます。



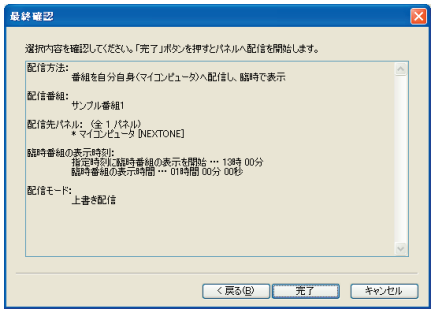
4 **「臨時番組の表示時刻」を設定します。**
・「配信終了後、すぐに臨時番組の表示を開始する」ラジオボタン
配信ウィザード終了後、すぐに番組を表示します。
・「指定時刻に臨時番組の表示を開始する」ラジオボタン
設定した時刻に番組表示を開始します。

5 **「表示時間」を設定します。**

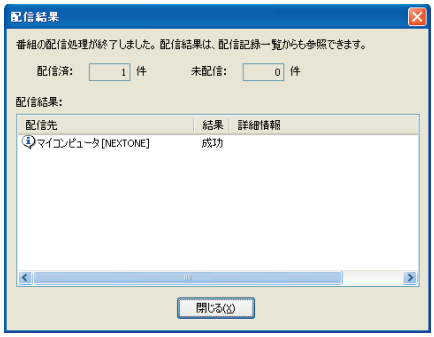
6 **［次へ］をクリックします。**
［最終確認］ダイアログボックスが表示されます。



7 **内容を確認し、[完了] をクリックします。**
臨時番組の表示予約または臨時番組の表示が実行されます。



8 **右のような画面が表示されるので、成功したことを確認し、[閉じる] をクリックします。**



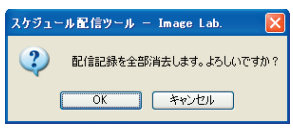
・既に時刻が過ぎていた場合は、臨時番組の表示は無効になります。番組は表示されません。
・臨時番組が「表示時間」で指定された時間分表示された後、本来の番組に切り替わります。臨時番組が終了した時刻に本来表示されているはずのコンテンツのはじめから表示を開始します。
・正常に配信できなかった場合は、画面に表示される指示に従って操作してください。

配信記録一覧

［配信記録一覧］ウィンドウには、スケジュールや臨時番組の配信記録の一覧が表示されます。
「スケジュール名」、「配信先」、「配信日時」、「種別」、「結果」、「詳細情報」の 6 項目が表示され、項目をクリックするごとに、昇順降順の並び替えができます。

配信記録の一括削除

配信記録は、次の 2 通りの方法で一括削除できます。
・配信記録一覧の枠内を右クリックし、表示されたメニューから［配信記録の全消去］をクリックします。
・【Delete】キーをクリックします。
確認のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。



最新の情報に更新

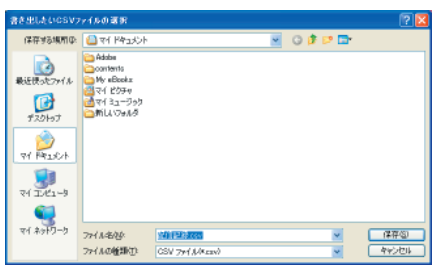
配信記録は、次の 2 通りの方法で最新の情報に更新できます。
・配信記録一覧の枠内を右クリックし、表示されたメニューから［最新の情報に更新］をクリックします。
・【F5】キーをクリックします。

配信記録の CSV ファイル出力

配信記録は、CSV 形式のファイルで出力できます。

1 **配信記録一覧の枠内を右クリックし、表示されたメニューから［配信記録の CSV ファイル出力］をクリックします。**
［書き出したい CSV ファイルの選択］ダイアログボックスが表示されます。

2 **「ファイル名」を入力し、［保存］をクリックします。**



スケジュール受信・番組表示

Image Lab ビューアの機能です。

管理パソコンから USB メモリなどの外部記憶装置を利用してスケジュールや番組を配信したときの、配信先パソコンの設定について説明します。

Image Lab クライアントスケジューラについて

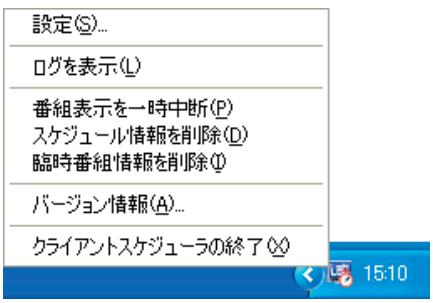
Image Lab クライアントスケジューラは配信先パソコンで使用します。
Image Lab が受信したスケジュールや臨時番組を読み取り、指定した時刻に指定した番組を表示するように番組ビューアを管理します。

● Image Lab クライアントスケジューラの起動

Image Lab クライアントスケジューラは、Windows 起動時に「スタートアップ」より自動起動します。
Image Lab クライアントスケジューラが起動すると、タスクトレイにアイコン（ ）が表示され、常駐します。

● Image Lab クライアントスケジューラのメニュー

タスクトレイのアイコンを右クリックすると表示されるメニューでは、次の操作ができます。

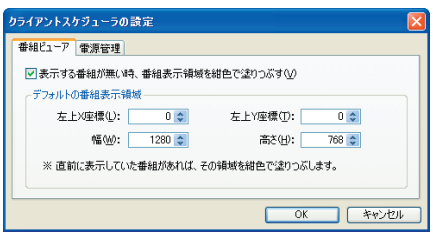


設定

［設定］メニューをクリックすると、［クライアントスケジューラの設定］ダイアログボックスが表示されます。
各タブで次の設定ができます。

［番組ビューア］タブ

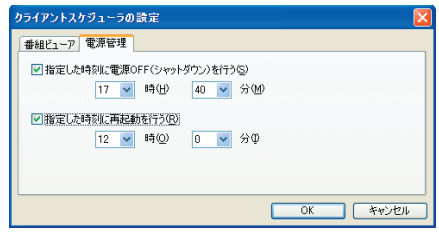
番組ビューアの詳細を設定します。



・「表示する番組が無い時、番組表示領域を紺色で塗りつぶす」チェックボックス
チェックすると、直前まで表示していた番組と同じ番組表示領域を紺色で表示します。
Image Lab クライアントスケジューラが起動してから、一度も番組が表示されていない場合は、「デフォルトの番組表示領域」で設定している領域を紺色で表示します。

［電源管理］タブ

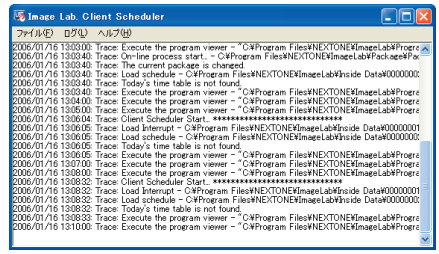
配信先パソコンの電源を管理します。



- 「指定した時刻に電源 OFF（シャットダウン）を行う」チェックボックス
  チェックすると、指定した時刻に配信先パソコンの電源を OFF します。
- 「指定した時刻に再起動を行う」チェックボックス
  チェックすると、指定した時刻に配信先パソコンを再起動します。

ログを表示する

［ログを表示］メニューをクリックすると、Image Lab クライアントスケジューラの動作ログをテキストエディタで表示します。
ログのクリアや最新の状態に更新することができます。

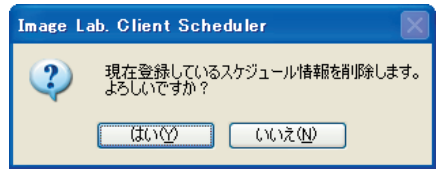


番組表示を一時中断

［番組表示を一時中断］メニューをクリックすると、表示中の番組を一時中断します。
このとき、メニューの左側にチェックマークが入ります。再度［番組表示を一時中断］メニューをクリックすると、番組表示を再開します。

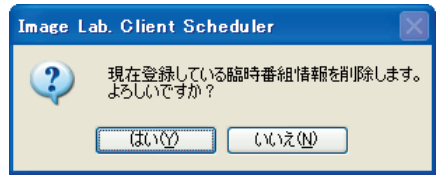
スケジュール情報を削除

［スケジュール情報を削除］メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、現在 Image Lab クライアントスケジューラ内に保存されているスケジュール情報を削除します。



臨時番組情報を削除

［臨時番組情報を削除］メニューをクリックすると、確認メッセージが表示されます。［はい］をクリックすると、現在 Image Lab クライアントスケジューラ内に保存されている臨時番組表示の情報を削除します。



バージョン情報

［バージョン情報］メニューをクリックすると、Image Lab クライアントスケジューラの［バージョン情報］ダイアログボックスを表示します。

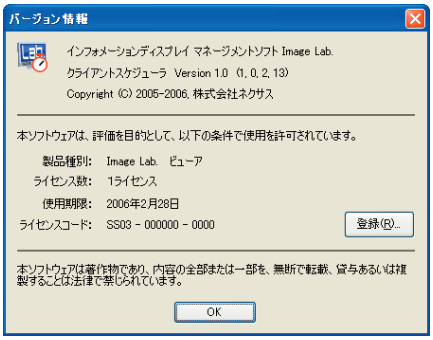


Image Lab で不具合などが発生し、当社にお問い合わせいただいた際には、このバージョン情報をご確認させていただく場合がございます。

また、インストール時に仮のライセンスコードを入力してご使用の場合は、2 ヶ月間の試用期限があります。試用期限が過ぎる前に、ライセンスコードを登録してください。
ライセンスコードの登録方法は、51 ページを参照してください。

Image Lab クライアントスケジューラの終了

［クライアントスケジューラの終了］メニューをクリックすると、Image Lab クライアントスケジューラを終了します。
ただし、通常は終了しないでください。

番組ビューア

番組ビューアは、配信先パソコンで使用します。
Image Lab クライアントスケジューラが読み取ったスケジュールや臨時番組をもとに、番組を表示します。

・番組を一時中断するときは、Image Lab クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［番組表示を一時中断］をクリックします。
・番組ビューアの詳細は、Image Lab クライアントスケジューラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［設定］をクリックし、表示された［クライアントスケジューラの設定］ダイアログボックスで変更できます。（☞59 ページ）

この説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。